京城日報
朝刊 日本朝夕刊共六頁

比島の敗殘兵を剿滅
敵の遺屍三千九百

大本營發表（十二月二日午後六時三十分）比島方面帝國陸軍部隊は曩に全群島を攻略したるのちなほ僻陬不便の山地等に據り蠢動しありし米比敗殘兵に對し引續き討伐を行ひつゝありしが、既にその大部分を剿滅せり

去る八月以降十月に至る三箇月間の綜合戰果中主なるもの左の如し

一、敵遺棄死體 三、九四五
二、俘虜 二、九一八
三、鹵獲品 機關砲 三三門 重輕機 七一挺 自動小銃 一〇五挺 その他銃器 七、四五八挺 各種彈藥 約百萬發 自動車 四十四台

比島の治安全く確立す

【東京電話】去る四月から五月上旬にかけてのバタアン半島およびコレヒドール攻略ならびにこれと併行するビサヤ地區およびミンダナオ島平定により比島における米比軍は潰滅したが、なほ降伏せずして山中などに逃げ込んだ米比敗殘兵は蠢動をつゞけてゐた、これに對しわが部隊は各地において討伐を續行してゐたが最近において遂にその大部分を掃蕩するに至つた、もとくこれら米比敗殘兵は武器彈藥および食糧の補給は得られず組織的な兵力とはならず苦しまぎれにゲリラ的行動をなしてゐたに過ぎなかつたのであるが、今回の討伐完了によつて比島は僻陬の地に至るまで治安が確立したのである、なほ極めて僅かな敗殘兵が殘つてゐても補給の全く得られない彼らは自滅のほかはないものとみられる

米、眞珠灣敗戰の眞相發表

【リスボン一日同盟】ワシントン來電＝海軍長官ノックスは一日新聞記者會見の席上「米海軍省は來る十二月七日の開戰一周年記念日にあたり日本海軍部隊の眞珠灣攻撃に關する眞相を發表する豫定である」と語つた

田中總監、近く訪滿

田中政務總監は第七十八議會に政府委員として出席のため來る十七八日ごろ東上するが、なほ新任挨拶をかねて東上前に訪滿する豫定

かくて英國敗れたり
敵將パーシバル手記
敗退、撤退、混亂、狼狽
傍し"完璧高度"の防備

【東京電話】馬來攻略戰の英國軍司令官中將A・B・パーシバルは我方の捕虜の身となるや秘かに敗戰の跡を回顧し收容所において『マレー作戰の回顧』と題する手記を執筆したが、大東亞戰爭一周年を目前に控へて その全文が二日陸軍報道部から發表された、手記は第一項『英軍初期の配備』から第十四項『日本軍の勝因』まで箇條書の報告形式をとりパーシバル自身のいふ如く『完璧高度』に防備されてゐたマレーおよびシンガポールが皇軍の神速果敢なる進擊の前につぎくと脆れ落ちて行つた狀況が淡々と語られてゐるが、敗退、撤退、後退、混亂、狼狽などの文字に滿ちた文面に悲痛の色は蔽ひ難い、この『敗北の記錄』と四月八日發表されたわがマレー軍作戰主任參謀の魂をもつて綴られた『英國敗れたり』の手記を對照して見ると更に興味津々たるものがある、はじめて公にされた『敗北の記錄』の手記は左の如くである

英軍初期の配備狀況

英軍初期の配備は次の三點を考慮してなされた

一、シンガポール島自體の防禦の必要
二、ジョホール東海岸防禦の必要 該海岸は上陸作戰に好適地だからである
三、飛行場防禦の必要、北部方面ではこれら飛行場は二つの主要部分に存在してゐた

一はクランタン地區、他はケダー州、ウエルズリー地區であるが右の要求よりマレー軍管區はつぎの四管區に區分せられた

一、シンガポール要塞地區キー・シモンス少將これを指揮、さらに要塞步兵隊およびその他の移動部隊がその麾下にあつた
二、オーストラリヤ軍ゴルドン・ベネット少將これを指揮しジョホール、マラツカの防禦に任じた
三、印度第三軍團ルーイス・ヒース中將これを指揮しジョホール北部、マラツカ全地域の防禦に任ずる、印度第三軍團は印度第九、第十一師團よりなるその配備つぎの如し
印度第九師團—強力なる旅團をクランタン地區に、またクワンタン地區に一個旅團を配備した
印度第十一師團—一旅團をジツトラ南方（北部ケダー州）に、一旅團をスンゲーパタニに一旅團をイポーにそれぐ配備した
四、對空防禦 右はシンガポール防空上配備せられたるものでマレー軍司令部直轄に屬する、北部地方移動防空隊は印度第三軍團の指揮下にあつた

日本軍、攻擊を開始す

日本軍攻擊開始前には一般的國際情勢に對應しわが軍の防禦は全く完璧高度になされてあつた、十二月七日夕刻、日本護送船團シンゴラ沖約七十浬附近にあるをわが航空機が發見、これによつてすべての防禦準備は完了した、クランタンの防禦は何時攻擊を受けても用意が整つてゐた、クランタン攻擊について言へば當該地區守備隊の目的はわが軍航空機使用のための飛行場を確保するにあり、右地域は守備隊をもつて防禦するには餘りに廣大であつたが守備隊は最初の日本軍攻擊阻止に成功し、日本軍に相當の損害を與へたと思つたのも、日本軍の攻擊が進展しさらに飛行場は日本空軍の猛爆により使用不能となり、わが航空機は撤退のやむなきに至つた、かゝる狀況下においてわが軍航空隊のため、これ以上この飛行場を守る理由はなくなつた

ケダー戰線部隊は十二月八日朝ジツトラ防禦陣地につくやう命令を受けた、シンゴラに日本軍上陸の報が確認せられた朝間く偵察隊が派遣された、同時にクロホにあつたわが部隊は有利な陣地を求めて前進を命ぜられた

ケランタン部隊撤退

十二月十一日に至りケランタンにあつた部隊の任務に關し決定の必要を生じた、といふのは同地飛行場が使用不可能に陷り一方西海岸を南下する敵主力の攻擊進展が明かとなりその防戰のためあらゆる利用權が增大したゝめつぎの如く決定せられた

（イ）總豫備隊の印度第十二步兵旅團をウエルズリー地區まで北上せしめ、これを印度第三軍の指揮下に入らしめる
（ロ）使用可能なる限り如何に少數の部隊と雖もこれをケダー州における戰鬪に使用するためペナンの防備を放棄すること

かゝる狀況下においてもつとも重要だつたことは日本軍は主として南部泰に戰鬪機を配備することによりマレー半島北部地方の航空可能なる部隊が要求せられるに至つたためである、かくてケランタンの部隊の撤退は決せられた

ケダーにおける狀況

開戰第一週の終り頃ケダーにおける戰況は極めて危險な狀況になつた、殆ど實戰の經驗を持たぬ印度第十一師團は日本軍の進擊により著るしく後退し、豫想外に迅速なる敗退と混亂による狼狽のため相當の損害を蒙るに至つた、さらにまたケダーおよびクロー戰線の間を中央突破せられるにおよび日本軍は絶對優勢を確保するに至つたとで、これにより日本軍はペナンの如き對空防備なき地を攻擊し、又わが軍の移動を監視しわが連絡交通を攪亂することが出來た

更にペラ以東へ後退

印度步兵第十二旅團の援助によりケダーおよびクロー兩地區の連絡はとれた、十二月十八日ころまではクリヤン河の線を保持してゐたが、そのころまでに印度第十一師團はすでに相當の損害を蒙り戰線は小になつてゐた、一方小分遣隊がグリツク道を保持してゐたこの地は攻擊を比較的狹小面に局限するので北部地域における最良の陣地であつた、グリツク道を進擊し來つた敵部隊によりタイピン地區所在の部隊と遮斷される危險があつたので、この本陣地もやがて拋棄されペラ河以東の陣地に後退するのやむなきに至つた

わが軍通信連絡機關などは常にペラ河渡河を企圖しつゝあつた日本軍の攻擊をうけた、さらに一連の陣地を選定、その最前線をカンパルに置いた、本陣地が選定せられた理由は地形が相當開闊で砲兵を有効に使用することが出來たからである

次でクワンタン撤退

十二月末日ごろクワンタン地方守備のため一個師團が來着の豫定だつた、クワンタン飛行場を出來得る限り長く確保しておくことは極めて重要だつた、それは一度同飛行場が日本軍に占據せられんかシンガポール空襲の規模を增大せしめることが出來るからである、一方西海岸戰線部隊が撤退されればクワンタンとの連絡は杜絶する虞れがあつた、當時クワンタンに對して直接攻擊は開始されてをらずただトレンガン北方にあつた小陣地に對して日本軍の斥候が接觸してゐた

クワンタンよりの部隊撤退の方法はジエラントツトにおける渡船の收容力に限度があつたので徐々に行ふ必要があつた、しかして西海岸作戰に充當する爲この部隊を撤退せしめるを決定したがその撤退は一月中旬ごろまでに完了の豫定だつた、其後この撤退の完了せぬうちに日本軍はクワンタン飛行場を北方から攻擊し來つた

スリムで大損害

一月初旬までには日本軍は完全に制空權を得、さらにマレー西海岸の海上連絡を確保したためにわが通信連絡に對する脅威はますます增加したので同海岸監視のため若干の砲兵隊をもつて特別守備隊編成の必要を生じた、また義勇軍の若干および一、二の部隊を東海岸より移動せしめた、それにも拘らず日本軍上陸は敢行せられ、わが軍通信連絡に對する脅威は更に加はつた、一月第一週末日本軍は南部ペラ州スリム河の戰線において大戰果を收めた、そして日本軍は戰車によりわが第一線の二個旅團突破に成功し同旅團は兵員裝備ともに大損害を蒙りために一時戰鬪部隊として役に立たぬやうになつた程であつた

本戰鬪ならびに一ケ月間連續の戰鬪による消耗のため印度軍第十一師團はクアラルンプール北方の守備陣地確保は困難に陷つた、なほセランゴール地區およびその南方には多數の道路ありかつ海上より絶えず脅威をうけるので本地區の防禦はますます困難となつた、よつて後備および兵力の撤退の擁護のもとに遙か後方ジョホール地區の北に撤退するに決した、印度第九師團の撤退はこれと步調を同じうするやうその促進を必要とした

北ジョホールの戰鬪

北部ジョホール地區ももとより防禦容易の地域ではなかつた、特に制海權を有する敵に對する防禦は困難だつた、その理由は次の如くである

一、主要道路は二つあり、一つはクアラルンプール道路、他は海岸道路でさらに移動を行ひ得る鐵道線路がある
二、また同地方は一般にゴム園が多くほとんどいづれの地域も軍隊の移動通過が可能である
三、メルシン—クルアン—バトバハ道路上には主要飛行場があるので本道路北方において戰鬪を行はねばならぬこと

そこで北部ジョホール地區の戰鬪のためゴルドン・ベネット少將指揮のもとに『西部軍』なる一軍を新設することとなつた、その編成は濠洲軍（メルシンにある十數旅團）印度第九師團、印度第四十五步兵旅團（印度より最近到着したもの）であつた、最初ゴルドン・ベネット少將のなせる配備は濠洲軍および印度第九師團をセガマト北方陣地に置きゲマス北方陣地に少兵力の伏兵を配置、印度第四十五步兵旅團は若干の濠洲部隊支援のもとに海岸道路上ムア河渡河點の監視に當らしめた、ジョホール海峽地區には第三印度軍團指揮下にあつてその司令部はジョホールバールに置かれ撤退せるわが軍を該地區に收容し日本軍は、忽ちゲマス地區においてわが軍と接觸しわが伏兵部隊はこれと交戰し多大の戰果を收めた、敗殘の日本軍戰車および前進し來つた日本軍部隊の大部分は戰鬪不能に陷つたものと信ぜられた、然しこのころ海岸道路を進擊せる日本軍部隊はムア河渡河に成功し、ムア河地區防備のわが軍を攻擊し來つた、同地區の防備を增強すべく印度第四十五步兵旅團支援のため濠洲軍二個部隊を派遣し、のち最近到達した第五十三步兵旅團の一個大隊を派遣し、ヨンペン西方の高地を確保せしめた、印度第六、第十五混成旅團はクルアンよりバトバハに移動せしめた、後方道路の閉塞によりわがムア地區防備軍は戰線を遮斷せられたためセガマト地區にあつて抗戰中の主力部隊は直接脅威をうけるに至つた、そこで該部隊に對し敵との接觸を斷ち直ちにクルアン、アエルヒタム陣地に後退するやう命令が發せられた、この行動は巧に遂行され全部隊は僅少なる損害をもつて撤退することが出來た、新しい配備は概略左の如くである

一、印度第三師團の一ケ旅團をクルアンに、濠洲軍をアエルヒタムに配備、レンガム地域にある印度第九師團の一ケ旅團は右部隊の豫備隊とする、右部隊はすべてゴルドン・ベネット少將が指揮する

印度第十一師團はその先頭をバトバハにおき海岸道上に配置する、濠洲軍一ケ旅團はなほメルシン地區にあり、右は第三印度軍團の指揮下にあつた

シンガポール空襲を少からしめるためにはクルアン飛行場を日本軍の手に渡さぬのが最も肝要だつたので該地區における戰鬪は出來る限り長引かせるやう命令せられてゐた

日本軍、エンダウ上陸

この際比較的小規模の日本軍上陸がエンダウにおいて行はれた、わが空軍は船を攻擊したが、すでに部隊上陸後だつた、日本軍はメルシンに前進し、該地區に布陣せる濠洲軍と交戰した、日本軍の前進は停滯し、ためにさしたる脅威を與へぬやうになつた

バトバハ附近の戰鬪

第六、第十五旅團はクルアンおよびアエルヒタム防衛軍の左翼を防護するため約一週間バトバハにおいて戰鬪を繼續した、バトバハ、アエルヒタム間の道路が閉塞されたのちは該部隊にとつて唯一の交通路は海岸道路總出のみとなり、一月廿六日頃この道路もまたレンギン後方まで閉塞された、第六、第十五旅團の閉塞突破の企圖は失敗に歸し、ために該旅團はその輜重および裝備の大部分を捨てるの餘儀なきに至り、兵は陸路または海路によつて退撤した、海岸道路閉塞のため直ちに使用し得る部隊はほかにはなかつた、しかも日本軍にして該道路を南下せんかクルアン、アエルヒタムに作戰中の友軍全部は退路を遮斷せられる虞れに在つたので、ジョホール州に作戰中の部隊全部を一月の最終週間にシンガポール島に後退せしめるに決した、この撤退は一月卅一日までに完了し印度第廿二步兵旅團を失つたほかは成功した、印度第廿二步兵旅團はレンガム南方の鐵道附近に分斷せられてゐたものであるが遂に本隊に合することが能はず、その大部分は捕虜となつた

シンガポールの防禦

今次戰爭勃發以前よりシンガポール島の海岸防禦にあらゆる努力を集中したが、北部沿岸には少しも防禦工事を施さなかつた、戰爭がはじまつてから出來る限り防禦施設の强化に着手したが、シンガポール島に退却した當時においてもその防禦はなほ甚だ不完全だつた、部隊配備は左の通り

濠洲軍、印度步兵第四十四旅團（最近印度より到着）をコーズウエーを含み同島の西部地區に配屬、第三印度軍團、濠洲軍に隣接しチヤンギーを含む北部地區に配置し再編せる印度第十一師團を左翼に第十八師團（その殘餘部隊は最近シンガポールに到着）を右翼に配備した、南部地區、チヤンギーを含む島の南部地區ならびにプラカンマチ、ブラウブラニ、テコン及びペングランの防禦、一般防禦計畫はジョホール水道を渡過せんとする部隊に最大の損害を與へるため海岸に前哨を配置し、その內部に防禦抗戰の據點を選定して機會あらば直ちに反擊を加へ得る用意をした、各部隊長は隣接部隊より要求ある時はその援助のために派遣するやう命令されてゐた

給水逼迫、つひに降伏

日本軍は島の東北方に砲火を集中し、われくの注意を同方面に轉ぜしめようと企圖したが、わが軍の搜索隊は同方面とは正反對の地區に有力なる日本軍部隊が集結してゐる旨報告し來つたので西北沿岸の上陸を豫期せぬわけではなかつた、第一次上陸實施せらるるや否や豫備隊は直ちにテンガー地區に送られスンゲイクンジ及びスンゲイツーロンの間に一部準備した陣地守備のためあらゆる努力をより要求ある時はその援助のために派遣するやう命令されてゐた、給水狀況ますます逼迫し後一晝夜の給水をなし得るのみと專門家はいふやうになつた、これが十五日に降伏を決定した最大要因である

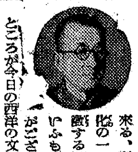
制空權喪失の痛手

この回顧錄には空中狀況についてはほとんど觸れなかつたが、その狀況は英軍のみならず日本軍にとり餘りに明瞭であるが故である、英國は他の場所における任務のため必要なる空軍勢力をマレーに派遣することは出來なかつた、かくて日本軍は戰爭の當初數日間に制空權を獲得し、しかもこれを最後まで失はなかつた、これはわれに對して甚だしきハンディキャップとなり、特に海岸作戰においては敵の偵察なしに行動することが出來ず、多くの場合攻擊をうけた、またシンガポール地域における行動にも同樣重大なる影響を齎らすなはち飛行場の修理または飛行機の作業などを甚だしく困難ならしめた

『註』空軍は陸軍より獨立せるため空軍の專門的事項についてはこれを述べるべきに非ず日本軍成功の一大要素たる進軍の迅速は勿論次の理由によるだらう

一、英軍よりは日本軍がこの地方により長期間居住に耐へる可能性あり
二、日本軍は道路交通に餘り依頼しない
三、日本軍が困難なる障碍物（河川、沼池などの如き）も通過する迅速さおよび破壞物を修繕する急速さ
四、日本軍の忍耐力に富む

聖戰完遂と半島
本社主催座談會 ④



新世界文化の東漸

尾高 然らば大東亞の新たなる文化といふものは如何に建設さるべきであるかといふことになりますが、それは結局東洋文化と西洋文化の綜合といふことを私は考へたいのであります、印度文化の流れといふものは、大陸や支那に西から東に大きく流れて來たのであります、印度の佛教は支那を通つて日本へ入つて來る、或は支那の佛教が日本に入つて來る、更に明治時代には西洋の文化が大きく東に流れて日本に流れて來る、東洋文化の一つを表徵する佛教といふものに卍がございますが、ところが今日の西洋の文化、大體私はドイツ文化によつて代表されるんではないかと思ひますが、しかしドイツの表徵は御承知のハーケンクロイツ鉤十字でありますが、これは卍と全く同じ、たゞ鉤の方向が右向になつてをります、元々は一つのものであつたと想像されるのであります、佛教の卍は印度から支那へ入つて參りまして、お經を寫す時に支那人が左向にしてしまつたもので元は一つで光明を意味し、ナチスドイツの考へ方におきましても結局ハーケンクロイツは光明の印で、元々は日輪を意味したものである、佛教の卍はこれも普遍的なる一つの模樣であつて光明の根源やはり日輪の形で元は一つのものであるそれがまるで別の形で發達して來てゐるのであります、東洋文化の精髓と、西洋文化の精髓とを合せて渾然たる一つの文化を作るこれが日本の使命であるやうに考へるのであります、その標印といふものの表徵は右向の日輪そのまゝでもなく、左向のハーケンクロイツでもなく、日の御旗、光明の根源日輪を世界に顯揚せしめることが日本の使命ではあるまいか

その文化東漸の時代が始まりつゝある、斯樣に新しい文化が大東亞の隅々まで文化的な力が働いて行く、それが文化的八紘一宇の考へ方であります、その場合朝鮮の占める位置といふものは非常に重要であると考へるのであります、即ち過去の文化東漸の歷史におきましても、朝鮮は支那の文化或は印度の佛教といふものを先づ受入れて特殊な形に發達させて、それを日本に送つて行つた、文化東漸の媒介者としての位置を占めてゐた、今度は逆に大東亞文化共榮圈建設といふ東から西に流れる場合にもやはり朝鮮半島を通つて行く樣になると思ふ

日本文化には歐米的過程なる面もありますが、また非常に纖細な面もあります、寧ろ餘り纖細過ぎる、これは大陸に根をしづかり生やすためには必ずしも適當でないやうなところがありますが、先づ朝鮮に日本文化を移して、こゝでしつかりした逞しい根を生やして大陸的な雄大な文化にして西の方へ送り出す、或は南の方へ進出せしめるその意味からも朝鮮の文化水準を高めることが必要である、その主眼はやはり日本文化を出來るだけ綜合的に、多方面に亘つて朝鮮に移植しまして、それを今度は大陸輸出向の加工品に作つて送り出して行く、かう考へてをります

大東亞思想建設へ
若き半島知識層の奮起

文化建設の試金石

日本文化の大東亞共榮圈に向つての進出は當然でありまして、それと同時に向うにある力を逆に輸入する必要がないか、それは大東亞共榮圈の思想の建設であります、これは日本國民全體の仕事になる譯でありますが、これについても朝鮮の占めてゐる地位といふものは非常に特殊な重要性を有つものでないかと思ふのであります、種々の民族、種々な歷史、種々な文化が錯綜してゐる大東亞の民衆を、これを日本精神によつて思想的に建設して行くといふことは勿論非常に大きい困難な問題でありますが、その場合に朝鮮統治の歷史といふものはこれは相當大きなものであつて然るべきである、その經驗が物をいつて然るべきであると私は考へるのであります、何といつても歷史の違ふ、風俗言語の違ふ朝鮮を今日までやつて來た統治の經驗によりまして、こゝで或は內鮮一體、或は道義朝鮮の確立、生活から離れた思想でなく生活に根ざした本當に實踐に結びついた思想であります、さういふ思想をこゝで作り上げて行くことが出來ますれば、それが大きな大東亞思想で、日本に引つける網として極めて結構なものになる譯ではないか、朝鮮における思想建設は大東亞共榮圈の精神的な建設の試金石である、かういふやうにいふことが出來ると思ふのであります、大東亞戰爭になりまして以來、大學專門學校の學生生徒がこの戰時下に深く自覺いたしまして新たな知識層の本當の組織といふものは先づ我等が確りやつて行かう、特に皇國臣民化の徹底內鮮一體の實現といふことを自分達の力でやつて行きたい—と最近朝鮮の大專門學校に生徒總力委員會といふものが出來ました

若き實踐の芽伸ぶ

大學の學生が中心になつてをりますが、現在では豫科をも混ぜた七つの官立專門學校、それから京城ほか七つの私立專門學校、合計十五校の代表者が集まりまして、一堂に會して相互ひに青年らしく語り合ふ—たゞ語り合ふのではない總力戰の一翼を學生たるの身分に背かないで、學生の身分を有効に活用し總力戰の一翼を自分達で擔つて行きたい、單に理論的に墮することを避けまして、自分達が學校で學んでゐる專門の知識といふものを活用し、同時に經濟系統の學生生徒は、今日の經濟面に一番重要な問題となつてゐる中小商工業者の經營調査をいふとを學生が行ひ、その結果を集計して何等かさうした問題に對する施策の材料を提供するとか、或は醫學系統の學生はレントゲンの撮影とか集團檢診によつて學生生徒全員の早期の結核性疾病を發見して、それの豫想若くは治療對策を講ずるかういふことを學生生徒が自ら進んでやつてゐる、さういふ風にいろくな問題を捉へて、自分達が本當に實踐して一緒に共同の研究なり調査をやりながら、お互ひに切磋琢磨し一つに結びつく大きな機運にしたい—と、段々進展しつゝあるのであります、これなどは一つの知識層の奮起といふことになるのだと思ふのであります、たゞ問題はさういふ代表者だけの集まりはほんの緒口でありまして、代表者がそれぐの學校の生徒に對して本當に指導力を發揮し得るかどうか、純眞な動きとして芽を伸ばしてやるやうにしたいと私は考へてをります

出席者（順序不同）
松本一郎海軍大佐（京城海軍武官府）多田督知陸軍中佐（朝鮮軍參謀）兵頭儁氏（本府企畫室長）尾高朝雄氏（城大教授）橫瀨守雄氏（朝鮮東亞貿易社長）大家虎之助氏（總聯鍊成部長）
【本社側】高木編輯局長、豐福編輯局總務、高田政經部長、須祇會部長、村岡政治部次長（時）十一月十六日

半島學生界の動行

本年の七月上旬に文部省直轄學校の主事會議があり、私もそれに臨席したのであります、その中に於て東京帝大の學生主事は『どうも近頃の學生はよくいへば大人びて考へは愼重である、併し惡くいへば老成してゐる、萎縮してゐる狀態である、彼等のいふには數年前までは自分達の行動の物尺といふものは自分の肚の中に持つてゐた、ところが今日では物尺が他人の手に握られてゐる、この大東亞戰爭の時代に居ながら以て青年がそんなことでは仕樣がない何とかしなきやならぬ』と一つの提案をしてをりますが、その提案は實踐によつて自分達の學友を引つ張つて行くやうな者があつたならば文部大臣賞といふものを設定して與へるといふことにすればよからうといふ、私はまことに異なことを承るものかなと感じたのであります、即ち今日の時代に若いこれからの國家を雙肩に擔ふべき者が、自分の行動の物尺を自分自身把握してゐないといふことは大變なことである、また文部大臣賞を設けて確りやる學生に與へるといふことは誠に智慧のない話で、そんなことで學生が奮起することは到底望めないではないかと考へました

それに引きかへて朝鮮の學生中知識層にいろくむづかしい問題のあることは申すまでもないことでありますが、そのむづかしい狀態の中にも只今申した學徒總力委員會を結成、專門學校以上の學生生徒が大同團結して自分達でやつて行かうといふ動きが相當活潑に現はれて來てゐることは洵に樂しいことであると考へる、どうか皆樣の御支援によりまして、かうした運動がどこまでも完全に、活潑に進展して行くやうにと祈つて已まないまたお願ひしたいと思ふ次第であります

猛吹雪を衝いて戰果を擴大
わが精鋭各部隊・山東省東部に剿共作戰

【山東省東部〇〇前線二日同盟】山東省東部に展開中のわが剿共作戰はその後吹雪の中に進捗してゐるがわが五十嵐、坂本、土屋、久保川、平井、奧中、曳地、中山、黑田、田副、大島、田中、鈴木、南、梅田、香山の諸部隊は三十日突如その鋒鋩を東方に反轉、新行動に移り山東半島の突端文登、榮成などにおいて蠢動してゐた東海遊擊隊第五枝隊および山東半島東部各縣大隊など殲滅すべく牟平、萊陽村を結ぶ線に進出着々戰果擴大中である

赤軍の反攻も効なし
獨當局談發表

【ベルリン一日同盟】東部戰線におけるいはゆる『スターリン反攻』の開始以來すでに一週間その間ドイツ軍司令部は戰局の推移を極めて愼重に發表するに止めたが、すでに赤軍反攻の峠も見えた結果か一日に至り右の當局談を發表した

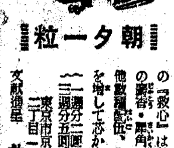
一、中部戰線ならびにスターリングラード戰線における赤軍は有力な戰車ならびに砲兵部隊を擁して執拗に反擊を加へ來つたが過去一週間の激戰を通じドイツ軍の陣地は微動だにせざるのみか逆に敵地點において相當程度進出するに成功ドイツ軍の陣地は多數箇所より著しく强化されてゐる

消息

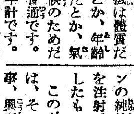
◇高久榮氏（元京城稅務監督局庶務部長）退官挨拶のため二日本社來訪

230億貯蓄を果す
山一の投資信託
第三次申込期日十二月二十日迄
一口500圓 說明書贈呈
京城府黃金町 山一證券京城支店

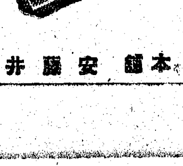
肺患者に急告……（廣告）
……まちがつた治療法の爲あたら人生を失ふ肺病ロクマク患者よ、早く正しい肺患征服の道によつて治しませう。お寺關係の金言を基礎とした全快指導書『治療の原理』と藥食療法『光明のあなたへ』の二冊の本を、寺から無料送呈いたします。
迷ふを止めて今スグ『京城日報で見た』と書いて左記へハガキをお出しなさい。そして早くこの方法により肺病を治して喜びの光明にかゞやく日をお送り下さい。
大阪府 功德山 德林寺



心臟・胸・胃の强化に特種動物ホルモン精臟藥
動悸や息切れ、熱、ね汗、食慾不振 心臟脚氣等の方に效目がよいと評判
朝夕一粒
の『救心』は名高い强精動物精臟の麝香・牛角・熊膽・牛黃・眞珠 他數種配伍、內臟の抵抗ホルモンを增して芯からの健康體に導く！
〔一週分二圓、二週分三圓五十錢 三週分五圓〕藥店百貨店にあり
文獻進呈 東京市京橋區新富町八ノ十三 救心本舖
救心

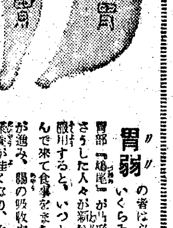


肩こり、頭痛に 悩む女性へ！
チョッとしても、肩がこつたり、頭痛がしたり、冷えたり、疲れ易く、そして肩をもませたり、頭痛膏を貼つたりしても、一時的に良くなるだけで、仲々芯から良くならず、絶えず惱んでゐる女性が多數にあります。
かうした女性は、本人も不愉快なら、側の者もかなり不愉快です。ですが、大抵は體質だとか、年齢だとか、氣候のためだと、諦めてゐるのが普通です。しかしその諦めは早計です。
なぜなら、さうした女性は十中の八九まで卵巢機能に障碍があるか、或は婦人更年期障碍に陷つたために、そこから分泌されるホルモン（これを學術上、卵胞ホルモンといふ）が不足してゐるからです。
（い）ま評判の新女性ホルモン『ギナンカプセル』とは、若い動物の體內から、人間の女性に適した卵胞ホルモンの純粹成分を抽出し、それを注射でなく、內服藥に成功したものです。
このギナンカプセルの特長は、その效果が刺戟的でない興奮的でない事で、すなはち本劑を卵巢機能障碍、或は婦人更年期障碍が原因で、」右のやうな症狀のある女性が服みつゞけると、先づ全身の新陳代謝がさかんとなり、血行血色が良化され、それにつれて、肩こり、頭痛、冷え、」疲れを忘れるばかりか、毎月の生理も順調となり……
（さ）らにお化粧ものりがよく、顏からからだ全體が滑らかに、地から艶々と滑らかになるので、氣分までが爽朗と朗かになるので、ギナンカプセルを愛用した若い女性は勿論、中年から中年すぎの奧樣、お年寄りまでが大變なお喜びで、今ま各方面で盛な賣行きを示してゐます
【價格】一ケ月分 五圓 三ケ月分 十三圓
各地の藥店、デパートにあり（ギナンカプセル詳細說明書は販賣元より進呈）
東京市日本橋區本町三ノ三 販賣元 友田合資會社
G.1207



原料香水 大デリナル
よい香りの永く保つ原料香水
本舖 安藤井筒堂

凹胃運動は—健康獲得の鍵



病胃 健胃
胃の形は誰でも袋形に膨らんだ形と思つてゐるが、それは解剖的所見に依る胃の臟器を示されてゐるからであり實際に於て生體の胃は空の場合は橫隔膜の左に掛かれたる如き垂直なる一本の管である。ところが一度疲れた胃に常に停滯の食物が殘る如き弱い胃にありては胃の壁がダラリと弛んでしまつていつでも袋形に脹らんでゐる。一層に惡くなる胃が下垂して臍部まで下る。
"胃弱"の者は必ずと言つてもよい位、いくらみに外から見ても胃部『痞悶』が袋形になり勝である。さうした人々が新鮮菌のイーストを服用すると、いつともなく胃部が開んで來て食事をまち兼ねるほど食慾が進み、腸の吸收力も增大するので榮養が佳くなり、血を增して、自然と血色も冴えてくる。だから胃病腸の人々にイーストの服用は大變によい回復方法であるが、同時に、勞働者の人、病氣恢復中の人にとつてイーストは體力挽回の絶好品である。二圓五圓で全國有名藥店及び百貨店の藥品部に販賣されてゐる。
純粹培養菌集結 新鮮イースト錠 二圓五圓 藥店にあり

社説 太陽暦生活に徹せよ

一

明治五年は日本にとつて劃期的な新政または改革が行はれた年であり、鐵道が開通したのもこの年であるが、また、從來暦に廣く用ひられてゐた太陰暦を廢して、太陽暦に改めたのは實にこの年の十二月三日のことである。もとよりわが國上古から固有の暦法があつたことは明らかであるが、それによつて年月を知つたといふことについては審かでない。たゞわが國に暦の存在が明らかになつたのは欽明天皇十五年二月に、百濟から暦博士王保孫と共に渡來したのが初めであるが、それが廣く採用されたか否かは不明とされてゐる。

二

しかも日本の暦として初めて行はれたものは、推古天皇十年十月、百濟の僧觀勒が獻じたもので、それを元嘉暦と稱することは古文獻にも見るところであり、その後も儀鳳暦、大衍暦、五紀暦、宣明暦などが行はれたが、何れも支那から傳來したものであつて、貞享元年の十一月保井春海が貞享暦を作るまでは、ほとんど外來暦によつてゐたのである。もとよりそれ等は月の運行を基礎とせる太陰暦であつて、日の吉凶などを中心とする暦注説が盛んになり、迷信觀念のことが多くなつて、人智の進歩を阻害することが著しかつたのは已むを得ない。

三

乃ち明治五年十一月三日、太政官布告第三百三十七號を以て、從來の太陰暦を廢して太陽暦を採用し、この日を以て新たに明治六年一月一日となすことに定め、一箇年を三百六十五日、十二箇月に分ち、四年目毎に一日の閏を置くことにし、時刻も晝夜を通じ十二時に分けられてゐたのを二十四時に定めることにされたのである。もとより、世界の暦法には多少の差異あり、わが國現行の太陽暦は、實はグレゴリオ暦に屬するが、それら各種の暦法を世界的に統一すべき議もあり、既に國際聯盟に於て各國に國內改暦調査委員會が組織されたが、それは單なる形式上の手續きであり、今や有名無實の殘骸となつた國際聯盟が、かゝる重大にして根本的なる問題を處理し得る能力のないことは自明の理である。

四

前述せる如く、わが國に初めて暦書を將來したのは百濟の暦博士王保孫であり、また初めてその暦法を獻じたのは百濟の觀勒であつて、わが國と朝鮮との文化的交流は既に當時から發せられてゐるが、その朝鮮における現狀として、今なほ舊暦を墨守して太陰暦に準據し、あらゆる生活慣行をいはゆる舊暦によつて慣行してゐる弊風が、歷代總督の指示にも拘らず、今なほ都鄙を通じて見られるのは遺憾千萬といふべく、やがて打ち樹てらるべき大東亞共榮圈の中核體たるべき半島としては、今こそ太陽暦による生活に發足し、迷信の非科學的生活から脫却すべきことをこの機に銘じて強はねばならぬ。

開戰一年 半島經濟の前進【下】
巨大な實力を發揮
殉國的戰力寄與へ邁進

九

大東亞戰が朝鮮經濟に課した最大なる結果と方向の一つは各々において、大陸兵站基地を呼稱し、地域的獨立主義に自負して個別化分立制をとつた滿洲國、華北、關東州經濟圏の各地が戰爭體制の嚴格なる條件下に立つを餘儀なくされるに至つてその觀念を打破し、大陸諸地域の相互補完、一體性ある綜合體制確立を要望、北方圏結成に醒ひ、綜合戰力の強化をもつて戰ふ大陸各地の基本對策なりと規定するに及び、ここに朝鮮が歷史的にかつまた地理的に近接した、これら各地との交流關係を深化擴大する必然要請を相互に打つたことである、一月廿八、九の二日間新京に第一回鮮滿連絡會議を、四月廿七、八の二日間京城に第二回同會議を開き、さらに大連に華北、關東州、蒙疆を加へた大陸連絡會議を開いたのである、さらに第二回同會議も引つづき北京に十一月九、十の二日間開催して各種物資の計畫連絡會議と併せ、大陸各地の綜合關係が切實に認せられ、資源兵備化が計られ來たつた、石炭、鐵、鑛石等重要原料及び資材の相互交流、食糧補完、開拓民問題、各地經濟分野の決定と相互調整等の基本問題について綜合體制確立への歩みをみせつつあるのである

このほかにこれらの具體的な實踐化については通關輸送等の積極的な打開促進手段が講ぜられた、大東亞戰來飛躍を遂げた東亞の經濟關係に廣全の機運と戰力增強の貢献に應へるの目標を擧へ事實として相互に多くの物資交流を實行し節約し合つてゐるのであるが、未だ各地とも十分に施き關係からの切替を完うしてゐないこと、綜合性實現の新關係實行上には具體的方法に相當の障碍が殘されてゐると等のために提唱された、その目的を果したとは勿論いへないのみか、僅にかくあるべしとの目標も方向に對して努力をみてゐる程度を幾何も超えてはゐない

十

しかし全面的に相互補完を行ふ關係に切替へるのでなくてはたゞに困難が介在するとする、その消極的でありかつ切實な理由の外に積極的な大陸建設の大理想達成をしても著るしい障碍に立たせることが明瞭である以上、今日の戰なる實的形式的綜合から觀的內容的綜合への實現まで發展させざるを得ないのがこの大陸經濟の現實であり、朝鮮經濟が意識するにしろしないにしろ自ら形成する基地としての自主體制の確立と呼應して大陸諸地域との綜合體制、相互補完關係を兩面から深め依存度を高めることは最早既定の事實方向である、而してこの陸の經濟機構は嚴なる北方圏の自主性みにあるのではなくして南方建設に對應した北方の共通なる指向であり必成體制から創出されたものである、やうやくこの一年においてしかる關係と機構が確立され、實績を將來にかけ得る素地を醸したのであつた、半島自體に統一された戰時體制目標が同時に大陸建設の共同なる目標として歸一をみたのである

朝鮮經濟はしかし對內地關係に於る外地經濟から自主體制への打替へを行ふと並行して滿支大陸經濟との間に新たな發展的飛躍關係に前進しそれの基地なる重要地位に立つの要請を負ふに至つた、かかる一大切替工作を負擔するに足る力量を持つ爲には朝鮮經濟が根本的に一大再編をなし遂げねばならないことを意味した、大東亞戰下にもたらされた激變の諸條件に對應せむとする再編成と併せて基本的な全般的規模の再檢討を受けて國土計畫的規模の再編成を要すること指導官民の間に確認された

十一

この明かな方向に對して半島經濟の切替へが開始せられたのである、生產部門ではまづ電力統制の形態が決定し、石炭また漸進的に單一化を開始した、鐵鋼、金屬、造船、鑛金屬、油脂、車輛等の各重要戰體制令によつた內外地一體せる統制會の加入、これに伴つた鮮內業の機構なる再編、農業水産部門また段階的機構再編が具體的着手の過程にあり、農地開發營團の設立、木材統制、穀物統制が戰一的に實行をみた、金融機構は東一、鮮銀の合併を最終に所定目標を達成、交通機關においても陸上小運送は朝鮮一に合同を終り、トラックまた組合から企業合同への途にある、海運また戰時海運管理令の施行によつて船主、運航の再編が實施をみつつあり、港灣小運送また廿三港において完成近く、さらに配給機構部門も企業整備令の施行が實まで重要商品別に殆んど新機構を確立し、今なほ之を大規模に進行せしめつつあるのである

かく主要産業は一應その大再編成の切替へを着手してゐる、貿易の大半と再編成化を明日に預けてゐるが、戰時半島經濟の新機構が戰力增強の具體的目標達成にいかなる方向を進み來たつてゐるかは明確であり、正に劃期的展開であつた、さらにこれを行政上裏付ける大東亞省設置による對中央關係の切替へも實行された、こゝにこの再編推進力として顯著な作用を致し致さむとしつゝあるものが國家資本の增大である、絕對額に於ては勿論相對比率にも資本の形にする戰力增強の半島經濟に指導相を確立し得むとするまでに擴大をみつゝあることである

十二

戰時朝鮮經濟に現出した新たな性格としてこの一年間に於るそれの活潑さは注目に價ひするものがあつた、最後にかくも偉大な戰爭を遂行しつつある半島經濟が當然なる大激變の事情に立ちながらいかに不動をもつて處し、與へられた幾多の重要課題を果して揺がなかつたかに就て簡單な指數字を擧記する、十一月廿二日現在鮮銀券發行高は七億七千六百萬円、十六年に於る最高七億五千四百萬円比較二千二百萬円の著增であつたが、まづ戰時下の動向としては微增であるといひ得る、貿易では十月末まで一月以降對內地貿易の累計は移出六億五千二百萬円、移入十一億六千三百萬円、合計十八億一千五百萬円、これは前年同期比移出百萬円、入超五億一千三千、百萬円五分の減、移入六千五百萬円六分の增、合計三千四百萬円二分の增、入超九千六百萬円二割三分の增加で再編下過程にある半島の對內地關係が明かにされてゐる、十月末鮮內各銀行主要勘定帳尻は預金十六億七千百萬円、貸出二十二億二千二百萬円、いづれも穩實な增加であつた

鮮銀調査による八月の京城物價及び勞銀指數は十二年六月基準物價一六四、勞銀一五八であり、前年同期物價八、勞銀一五ポイントの增、物價は遂に保險金十億円を突破した、生產力擴充に、戰力負擔に活躍する半島の經濟指標はしかく確實なる發展を表現し、かつ鮮後の寄與ぶりを端的に指示するものである

この歷史する大戰爭、大東亞戰必勝の半島經濟が負荷する重大な使命を負つて十分ならざるながら総力結集に奮闘し、併せて自らの歷史的止揚を遂げつつある半島の逞しき力量には驚嘆するものがある、この戰ふ組織の一年は混沌の中に再編を著行したる年ではあるが、緩かにではあるが一點に結集するの力强い姿相が確剰としてゐる、いよいよ第二年目、長期戰に示されるその巨大な實力が期待渴望をもつて迎へ得る段階となりつつある、殉國的戰力寄與を實踐して自ら歷史的脫皮を完成せよとする意欲、そこに半島統理の光榮ある止揚が果されるであらう

寄留者一千餘萬人
成績良好 四割一分に達す

時局下國民各自の住居を明確にして國內態勢を整へ併せて近く實施をみる徵兵制度施行の前提として去る十月十五日から施行せられた寄留令に基く寄留屆はその後總督府において鋭意整理を急ぎつゝあつたが、このほど漸く全鮮の調査を終り申告率百パーセントの成績を示し次の如き總決算が二日民事課から發表された

これによると寄留者の總數は一千十八萬八千六百五十九人で全人口の約四割一分を示し道別では平南の七割一分が首位を示し京畿の五割六分、平北の五割がこれに次ぎ、慶南、咸北、黃海の順序で忠南の二割九分が最下位となつてゐる

またこれを各府についてみると全鮮廿一府の寄留者は三百八萬三千七百人で全人口の九割一分を示し都會地にあつては人口の十割一分でつぎが京城の十割一分、以下馬山、咸興各十割、海州、鎭南浦各九割六分の順で開城の四割九分が最低率である

なほ、平壤、京城、馬山、咸興の四府は何れも十割以上といふ驚異的現象を示してゐるが、これは昭和十六年度末の人口を根幹とした割合であり、昭和十七年度において人口が激增を來したものとみられることが出來る

道別	人口	寄留者總數	人口に對する寄留者百分率
京畿	[illegible]	[illegible]	五六
忠北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠南	[illegible]	[illegible]	二九
全北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
黃海	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平南	[illegible]	[illegible]	七一
平北	[illegible]	[illegible]	五〇
江原	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸北	[illegible]	[illegible]	[illegible]

府	人口	寄留者總數	百分率
京城	[illegible]	[illegible]	一〇一
仁川	[illegible]	[illegible]	[illegible]
開城	[illegible]	[illegible]	四九
大田	[illegible]	[illegible]	[illegible]
群山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
木浦	[illegible]	[illegible]	[illegible]
光州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大邱	[illegible]	[illegible]	[illegible]
釜山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
馬山	[illegible]	[illegible]	一〇〇
晋州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海州	[illegible]	[illegible]	九六
平壤	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鎭南浦	[illegible]	[illegible]	九六
新義州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
元山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸興	[illegible]	[illegible]	一〇〇
淸津	[illegible]	[illegible]	[illegible]
羅津	[illegible]	[illegible]	[illegible]
城津	[illegible]	[illegible]	[illegible]

備考 人口數は昭和十六年末現住人口に依りたるも昭和十七年中に於て行政區劃の變更ありたる府（釜山、馬山、平壤、元山）は變更當時の人口に依りたり

鮮內株時價平均續騰

朝取調査＝十二月初め現在における主要鮮內會社數五十九社、銘柄九十四種、一株當り五十円拂込み換算時價平均は七十二円六十一錢にして前月に比し五十七錢方續騰、前年同期に比すれば十七円十四錢方大幅な値上りを示した、その業種別左の如し（單位錢▲印安）

業種別	十二月初め	前月比較
金融	七四、〇九	▲〇、五六
運輸	五八、二三	〇、二三
電氣	八四、一〇	一、一一
鑛業	五四、七五	一、二六
製造業	六五、八〇	〇、八九
拓殖	七五、四一	▲一、八二
雜業	六〇、四八	一、二三
平均	七二、六一	〇、五七

朝取營業概況

朝取下半期（營業日數百五十二日）の營業概況左の通り（單位枚▲印減）

取引別	下期	前期比較
長期	[illegible]	[illegible]
短期	[illegible]	▲[illegible]
實物	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	▲[illegible]
一日平均	[illegible]	▲[illegible]
手數料	[illegible]	▲[illegible]
一日平均	[illegible]	▲[illegible]

濱取一分二厘減配

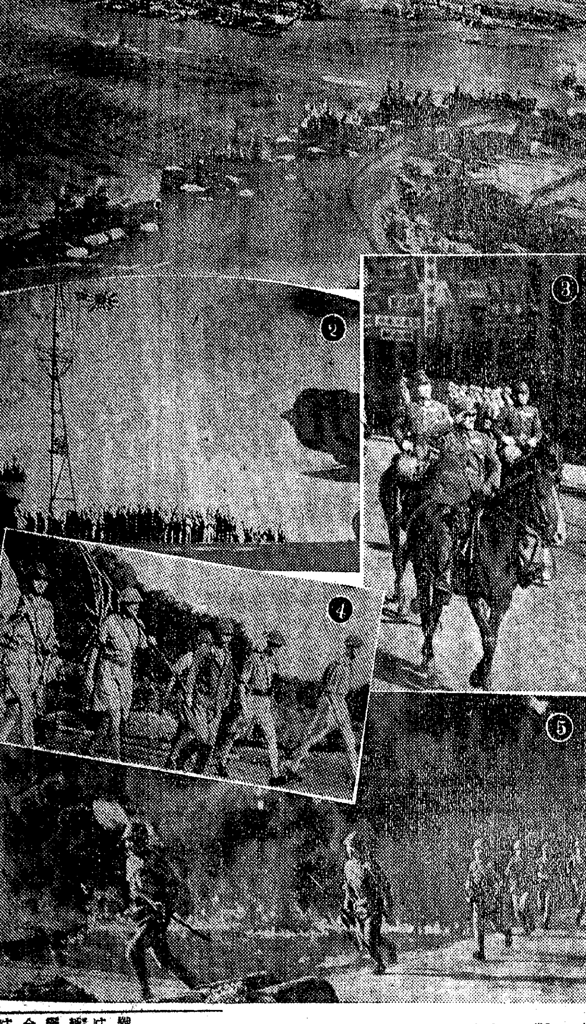
【橫濱電話】橫濱取引所では一日決算重役會を開催、當期利益金處分案（配當一分二厘減の年六分）を査定、來る廿二日開催の定時株主總會に附議する

夕刊後の市況（二日後場）

朝取短期	大引	高値	安値
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期	大引	高値	安値
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大戰一年 揚がる勝鬨（上）



1、ハワイ急襲 ハワイは眠つてゐた、十億ドルの要塞の中に日本軍伏の夢を見つゝキンメル麾下米太平洋艦隊が眠つてゐた、其時あゝ殊勳の奇襲成功せり、見よ！わが海鷲の放つた必殺の魚雷は航跡も白く眞珠灣を突切る、フォード、ヒツカム、ホイラー三飛行場の格納庫、航空機は瞬時にして業火と飛散つた、アメリカの合言葉は「眞珠灣を忘れるな」とか、われ〳〵には「忘られぬ眞珠灣」「胸に灼きつけられたあの朝」それは鬱憤に起ち上つた東亞民族の最初の一瞬であり、白人驅逐の第一歩でもあるのだ

2、Z旗は翻へる 「皇國の興廢この一戰にあり、各員一層奮勵努力せよ」の日本海々戰以來四十年、再びZ旗は檣頭高くはためいた、十二月八日太平洋の關門を衝いて決死ハワイ奇襲に飛立つた海鷲、送る者、送られる者すべて感激の涙にぬれて皇國の歷史をふりかへつた

3、香港入城 日本の喉首につきつけた匕首が折れた、即ち英國が百年英國の築き上げた要塞の要塞が崩れた、十二月廿八日硝煙の晴れた香港の空にはわが勝鬨の堂々の銀翼、街路には歡喜爆發し陸海最高指揮官の閲兵を受ける陸海の精兵、俘虜のヤング總督、モルトビー司令官以下の英國將兵が生命ながらへた喜びと凄絶な日本軍攻撃の記憶にうちふるへてゐる時、酒井、新見兩最高指揮官以下のわが將兵は堂々と入城した

4、昭南島への道 マレー半島五十日、わが將兵は密林を濕地を踏破してきた、しかもコタバルの上陸、スリムの激戰戰の連續に呼びかけながら進撃を續け、一月一日ジョホール・バル突入、機を持した一週日機の熟するや九日午前零時ジョホール水道の渡過を決行したのであつた、更にブキテマの苦闘、煙に覆被するのみであつてはならない、昭南島への道は苦闘に絶する苦闘の道だつたのだ、二月十五日午後六時四十五分大英帝國の東亞に擁する最大據點の潰ゆる時が來た、白旗とユニオンジヤツクが歩いて來る、敵將パーシバルがわが軍陣に降るべく歩いて來る、これも昭南島への道といへるかも知れない

5、マニラ陥つ ガソリンの焔と黒煙の中をわが將兵は突撃する、既に血と汗とにまみれた「大和魂」が突き進む、こゝはマニラ郊外のカビテ軍港、香港は陥ちたぞ、後れてはならぬ、そんなことを考へた者もあたかどうか、たゞ猛らに突入する、燃え上る劫火の中へ、アメリカ東洋の牙城へ

【寫眞は何れも陸軍省許可濟第五七一號並に陸軍省檢閲濟】

織物輸出組合發展的に解散

織物製品の對日滿支向け輸出統制をはかるため、過般全鮮織物輸出實績所有者を打つて一丸とした朝鮮織物輸出組合を設立したが、同組合の設立に伴ひ朝鮮織物輸出組合は發展的に解消することに決定し

隨想録

第一次から第三次に至るソロモン海戰で敵國海軍は完膚なきまでに叩きつけられた▲第三次海戰前敵は鳴物入りで日米天下わけめの大反攻であることを呼號し之に敗るゝに於ては將來相當期間太平洋制覇は困難なことを自白してゐたが結果は散々の敗退になつた▲そこで盜人猛々しくは南太平洋に關する限り戰を諦らめて居られるかと言へば決して然らず米國の紐育を切齒されては到底對日反攻の足場を獲得出來ぬとなり▲延いては日本の戰略的地位を益々固めさせるだけだから如何なる犧牲を拂つても第四次、第五次の大反攻を繰返すであらう、彼でもさう易々とは出來ないにしても潜水艦によるゲリラ戰は規則的に機械の度を加へることを覺悟せねばならぬ▲特殊潜航艇を加へ主力艦の補給は如何に生死力を增大を恐れもかつぼさへしてこの事實は太平洋に關しても戰爭心事ではない▲我方は戰力增强、十一月中に擊げた戰果を見ても實に百六十餘の艦艇を撃沈してゐる、當めの爲には南方占領地との交通路を確保せねばならぬ▲最後の瞬間には戰時あらゆる方策を講ずるであらうとも放逸の瞬間は廣めたく擧げてならないに於て今や第一は輸送艦の急速建造、二は內地その他よりの物資の輸送を制限してなるべく多くの船舶を南方に向けさせる樣にせねばならぬ、これが我國家がそれを克服しなければこの米帝國の戰爭を完遂することは出來ないのである。

文化 離鮮の言葉（2） 田中英光

徵兵制施行を前に

普通、青少年を指して、次の世代を背負ふものといはれるが、今日の樣な戰時にあつては、戰場にあつて銃を擔ふもの、銃後にあつてハンマーを揮るもの、殆ど全てが青少年であり、當代を背負ふものは正に青少年なりといへるであらう。由來、半島は武者の國と呼ばれる程、老人を聯想させる土地であつたが、目下の半島は青年の土地であり、新しい鮮りにある氣がする。

だから、半島にあつて青少年は特に現代の第一線を承るものであり、近い將來には、その大部分が御國のために銃を擱ふ光榮に浴するのである。そんな風な感想が、いつも半島の少年達の明るい國語を聞く度に湧き上つてくる。むろん半島の老壯年も敬愛すべきであり、信頼すべきであらうが、當面に新しい態度を續けつゝある現代の新しい半島に於ては、青年よりも少年、少年よりも幼兒により深い興味と信賴の情を寄せざるを得ない。

その意味では、半島の若いお母さんたち、若い主婦達、若い娘たちに明るい信頼と敬愛を抱かせる所以にもなる。徵兵制施行が發表された直後、ある半島の作家はぼくに

「これから朝鮮にも眞面目な戀愛小說が生れなければ嘘だ」

と語つてゐたが、その意味は高い倫理性と、正確な國家意識を持つた青年男女の戀愛を書きたい、不眞面目な野合は軟弱な子供を生み正しい結婚は强い子供を生む事になるからとの樣であつた。

兎もあれ、ぼくが渡鮮して來た昭和十年頃と、現在では、半島の青少年の顏色が變つて來た氣がする。當時は、いくらか暗い、人の顏色をみる樣な表情が、普通學校の生徒たちにあつたのが、今では瞳の明るい瞳の澄んだ國民學校の生徒たちに變つて來た。徵兵制の實施も間近い今日、ぼくは懷しい朝鮮を去るのであるが、その中、東京の街路あたりで、元氣な半島出身の兵隊さんたちにお逢ひする事も出來るだらうと愉しみにしてゐる。

☆……さうした鍛成を滿喫とした海の戰士達がこの大戰果を擧げるに至るまでの不斷の猛訓練を描いたもの、劇映畫最後の本格的海戰映畫として申分がないがこれを劇映畫として觀衆に片付けるとは出來ない、といふのはハワイ、マレー沖海戰といふ事實が餘りにも壯烈そのものであるために虛構を意味する劇映畫といふ言葉がぴつたりしないのである

☆……前半訓練篇に當る部分では敢闘精神を鼓吹する氣魄の充實した猛訓練ぶりが示され壯烈さと情愛の交流があつて好ましい演出を見せ後半實戰篇に至つて痛快極まりない海戰の最高潮場面に移つてゐるが、眞珠灣マレー沖の場面は東寶が得意とするだけあつて、その特殊撮影の技術は誇示するに足る優れたもので、前作『燃ゆる大空』より格段の進歩を認める、劇部は精神に緊直に縱へ取組み……

☆……卽ち一豫科練習生（伊東薫）を通して世の少年達と海軍魂を示すところは教育的にも効果の大なるものがある

新映畫評 ハワイ、マレー沖海戰
◇戰爭物の最高峰

☆……大本營海軍報道部企畫、東寶映畫作品『ハワイ、マレー沖海戰』は大東亞戰爭勃發一周年を期して公開されるもので、敵米英を擊滅させたハワイ、マレー沖海戰の驚異的な作戰經過とこれに從事した……

"春香傳"と國語劇 鐘路文化劇場に公演

京日鐘路文化劇場では五日（土）から八日までの四日間半島演劇……『春香傳』を公演、登場人物百三十名といふ大掛りなものだが、他に特別公演として一幕物の國語劇をも毎日皆りで上演する【寫眞＝春香傳の一場面】

不連續線 旅

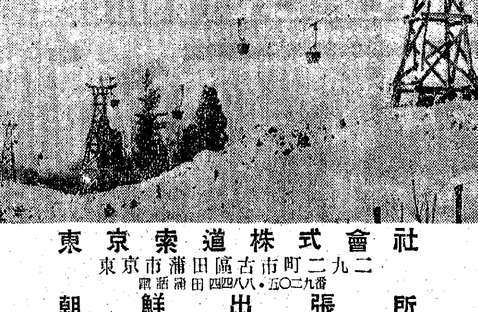
ホテルの晩餐といふやつは、どうも私たちには堅苦しい。それに、部屋が洋風で窮屈で、寢臺の匂ひがするのも鬱陶しい。汽車の旅も、それが長途である場合は、寢台車に厄介になることも考へられるが、安定感がなく、車輪の轟音と振動に煩はされて、地震の夢ばかり見た。結局、日本人には、畳のある日本旅館がよいし、特別な必要のない限り、旅になど出ないに越したことはない。

胸に愛國 手に國債
大東亞戰爭一周年記念 十二月八日 記念債券賣出
割增金付 好利廻 貯蓄報國 進物用包裝 無料奉仕
今秋田證券債券部 京城府明治町二 電話本局②五一五五

耳
偉大なり科學の力！
歐氏耳治療器 コマク
（創業二十年）
エヂソン商會 大阪市港區

強力 リベール錠
あらゆる化膿症 急性慢性淋病に 内服短期治療法
淋病は從來の姑息療法では殆んど其効がなく疼痛や排膿は減じても淋糸の消失は容易でない根治困難とさへ云はれる淋病も注射洗滌等を要せず家庭で短期間に治療目的を達する内服薬が發見された強力リベールが即ちそれである
本劑は二基性アミド劑と他の貴藥との相乘作用による効力の倍加と副作用の一掃に成功したもので單に淋病のみならず左記化膿性諸疾患に應用して著しくべき治療効果を發揮する
副睾丸炎、攝護腺炎化膿性婦人病、丹毒、膿疱、中耳炎
製造發賣元 竹村製劑所

創傷 火傷 熱傷 糜爛傷
隣組の…常備薬
火傷、熱傷など突發的な怪我にハリバ軟膏を…短時日で肉芽と表皮を新生する
ハリバ軟膏
五十瓦・一円

特許土持式架空索道

東京索道株式會社
東京市蒲田區古市町二九二 電話蒲田四四八・五〇二九番
朝鮮出張所 京城府孝子町一五二 電話光化門(3)三四五七番
總代理店 淺野物産株式會社

商業登記公告

[illegible]

朝鮮神宮に參拜 けふ出發 歸國華僑團一行

朝鮮華僑歸國視察團の代表陳長司子明、副團長郭華亭兩氏ら有力者林京城總領事に伴はれて二日正午朝鮮神宮に正式參拜、次いで各方面の皇居遙拜と正式參拜等重要施設を恙なく果すため旅程の安全を祈念したが、午後は關係各方面の挨拶廻りを行ひ、一行十九名は三日京城發一ヶ月の豫定で中國北支を經て歸城する【寫眞＝朝鮮神宮參拜の華僑團一行】

"消した筈"を今一度 愛國班へ回報"師走の實踐"

"消した筈がもう一度"と國民の防火意識を强調して國民總力京城府聯盟では愛國班回報第十二號を二日各方面の聯盟を通じて夫々配布した、六百五十萬圓の國債々券の消化をはじめ厚生事業强調週間など本年最終の行事は多く、この際戰禍や職の如き消した筈の心にもう一度檢討を加へる必要がある

國債々券消化 十二月に於ける國債々券の京城府割當は約六百四十六萬圓で昨年同月割當二百十五萬圓に比し約三倍になつてゐます、時局はいよいよ長期戰に入り國民の負荷する責務は更に重大を加へつつあるを思ふ時折柄我等府民の名譽にかけても完全消化を目ざして頑張りたいと思ひます

旱害義捐金募集 南鮮六道、江原道、咸鏡南北道における今年の旱害はひどく罹災者の窮狀は同情にたへない有樣です、それで京城でもこれ等罹災同胞の救濟のため町會を通じて廣く義捐金を募集中であります、それで府周下篤志各位は食糧增産に全力をつくしてゐる農民に心から感謝すると共に罹災者に深き同情をよせ奮つて義捐することに致しませう

防火日 十二月一日は全國一齊の防火日でありますがこれを契機とし此の際特に防火思想の昂揚につとめることにいたしませう、煙突、ストーブ、煖爐、風呂場、竈、火鉢、七輪等の火器の取扱ひに留意し同時防火の設備と併せ考へこの冬は斷じて火災を起さぬやう用心いたしませう

防備食罐詰 食料罐詰は昭和十六年度以降非常時態勢の際に於ける準備食料として生の用途に改められ罐詰の種類も防備食に適する內容のものに限り生産せられることになりました、それで今回長期戰に對應して一朝有事の際に備へるため第一回防備食罐詰を府民に配給し愛國班長の手許に貯藏保管していただくことになりました、それで非常事態發生の際班長が必要と認めた時や當局から自由處分の指示のあつた場合以外は絶對に勝手な消費をするやうなことのないやう非常防備食たるの趣旨を十分理解し班長班員共に責任をもつてこれが貯藏保管をするやうにいたしませう

厚生事業强調週間 今まで毎年歳末には同情週間を設け府民から零細な寄附金を募集しこれを府內の細窮民や私設社會事業團體に收容してゐる孤兒等の救濟資金に充てゝきたのでありますが本年はたゞ消極的な救濟ばかりでなく防貧教化等の積極的な事業にも乘り出すことにし來る十二月十一日から向ふ七日間を厚生事業强調週間として實施することになりましたそれで週間中に町會を通じ同情袋をくばりますから應分の義捐をすることにいたしませう

今月の納稅 今月は地稅第一期分、乙種資本利子稅、土地賦割各二期分の納期です、納入期限は廿八日限りです、可成早く納めませう、納入場所はいつものやうに府內各郵便局、商業銀行支店出張所派出所、府廳及各府出張所內の府金庫、夜間金庫などです、年末多忙の時でもありますから一日も早く納めること釣錢のいらぬやうにするなどよく氣をつけることにいたしませう

なほ回報十一號の大陸物稅五錢は十錢の誤り

"家庭用"酒場で突止む 嘆く晩酌黨に東大門署起つ

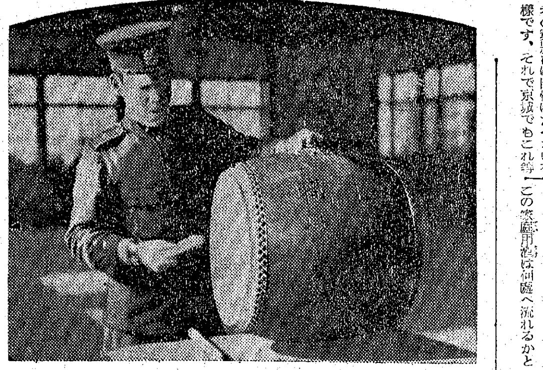
家庭用酒の割に嘆く──當然得らるべき家庭用酒の出廻りが最近になつて特に鈍くなり、甚だしいことには配給票を所持する愛國班員すらもこれまではほんの一本だに貰つたことがないと正月を目睫に控へて氣を揉んでゐるが、一體この家庭用酒は何處へ流れるかと東大門署經濟係ではその行先を見張つてゐたところ昌信町酒類商會主安田昌興(假名)に不審があるので引致追及した結果、安田は今春から酒の不足につけ込んで鍾路街の某酒場に家庭用の殆んどを販賣したことが判明したが、同署ではこれらの行爲は戰時下銃後の秩序を紊すものとして嚴罰することになつた

東大門特別防護團の檢閲式 來る五日執行

東大門警察署內の特設防護團檢閲式は來る五日午後二時から孝悌國民學校々庭で稻田署長檢閲の下に執行する

僞せ京電社員

東大門署では昌信町山六ノ四西川炳源(二三)=假名=を詐欺取調中であるが、西川は去る一日午前十一時ごろ敦岩町五〇六ノ一尹鍾氏宅に入り『僕は京電の社員である』と僞り電燈裝置の手數料として金九円廿五錢を詐取した外前後三回に亘り八十餘円を騙いだもの



本町署に錬武の大太鼓 大阪の吉田氏から遙々寄贈

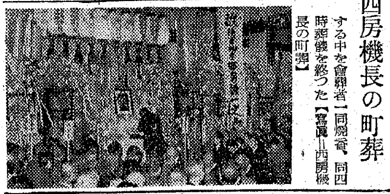
銃後治安に挺ずる警察官の錬武へ士氣の鼓舞を添るため京城本町署へ大太鼓が寄贈された、この奇特な贈り主は大阪市築町吉田大鼓店で十日ほど前一枚の端書と共に同署に到着したもの同署員もはじめの中は理由がわからず始末に迷つてゐたが二度目の問合せで吉田方から『どうか御署の武道場に吊つて下さい』といふ意味が申し越されて一日正式に受納することになつたこの太鼓は名人の作になるものらしく、音もよく、表面には『武道獎勵、職域奉公』と麗しく刻れてある【寫眞＝寄贈された錬武の大太鼓】

敵必殺の銃劍術錬成

◇…"えいツ"と刺突一閃くり出す銃劍、鋭さずばやまじの氣魄の氣合は毎朝六時から一時間、毎夕七時から二時間寒氣をふるはせて龍山國民學校々庭一ぱいに響き、この銃劍道は近邊通行人の注目を惹いてゐます

◇…これはさる十月朝鮮神宮奉賛銃劍道大會青訓所對抗試合で見事優勝し、また十一月廿八日龍山練兵場で行はれた本年度青訓査閲式の際森山査閲官から"この敢火の氣魄、動作は軍の古參兵を凌ぐものがある"と講評を受けた龍山青訓生徒の撓みない鍛成ぶりです【寫眞＝龍山青訓の銃劍道】

勳偲ぶ盛儀 西房機長の町葬



去る廿九日〇〇上空で陸軍司政官長谷川安兵衛氏らと共に殉職した日航〇〇號機長京城明治町二ノ九二西房譲一氏の明治、黄金兩町聯合の町葬は二日午後三時から東本願寺で施行された

定刻、導師敬白文に續いてしめやかな讀經があり、終つて委員長稚澤明治町總代の弔辭朗讀、それより明治町青年隊員の喇叭吹奏裡に父勘作、弟勝治氏ら遺族の燒香が終れば、次に高知事代理、古市府尹、京城在郷軍人分會長代理、同第五分會長、日赤本社長代理、日婦明洞本部長代理、龍中校長らの弔辭が讀み上げらる、再び念佛和讚の唱和する中を會葬者一同燒香、同四時葬儀を終つた【寫眞＝西房機長の町葬】

京城武德館 六日創立記念武道大會

京城武德館では同館創立廿周年記念武德祭に劍道大會を來る六日午後零時半から同道場で來賓、選士多數參集のもとに開武の雰圍氣を盛めて盛大に擧行する

忌明獻金

府內蓬萊町四ノ一九九小林藤作氏は長女利子さんの忌明に際し二日金一封を本社へ獻金寄託した

……◇……

元町三ノ一四三〇現物行商豐田英一さんは零細な行商利益の一部を割いた三円五十六錢を二日龍山署へ獻金寄託した

時局詐欺

忠清南道禮山郡生れ住所不定崔某はさる廿日忠北提川邑の清氏に"消防用ポンプは時局柄有利に販賣出來る"と購入をすゝめ百円を詐欺したほか四回に亘つて一千五百円を詐欺、このほど龍山署に擧げられた

半島縮刷版

炭層の"厄介者" "ボタ"一躍十七圓へ

【宋乙】厄介な鑛物炭坑のボタが、一躍黄金の山となつた明朗な話……生氣嶺炭坑ではその炭層の間に所から非常なボタが出て惱まされてゐたが、最近このボタの中に時局柄非常に重寶がられてゐる高嶺土が卅%以上も含まれてゐることが判明、清鐵、日鐵その他國內に北支方面の各主要工場の耐火煉瓦材として利用することとなり、採掘を擴してゐる、この貴重なボタは同炭坑の中腹、下腹炭區に無盡藏に蓄積してゐるもので既に坑外に搬出されたものだけでも無慮數千噸にも達し、噸當り何んと十七円、本物の石炭そこのけの豪勢さである

"全南海苔"の走り

【麗水】海苔の走り…朝鮮海苔統制會社木浦出張所からの報告によると十一月卅日までに全南沿岸で既に作柄の早い珍島、右水營、海南の各灘から六十萬餘五千束が本年海苔の走りとして市場に登場した

生育も順調

【麗水】海苔採種期の條件が悪かつたのとその後の暖氣のため本年の海苔作柄豫想は頗る困難であつたが愈よ海苔出廻り開始期の昨今では各地から續々と本年の海苔生育は順調であると傳へられ、海苔全南の主産地からの報告によれば現在のところ成育は至極順調で各地とも一齊に製造に着手し年內出荷の豫想は莞花、所安等より六千箱その他で二千箱合計莞島郡から八千箱の出荷豫想され本年の海苔は幸先よしと期待されてゐる

增産へ冬季の準備

【光州】主要食糧確保に全力を傾注してゐる穀倉全南では來る十日から十日間に亘り冬季一齊作業週間を實施し米麥の增産に萬全を期することゝなつた今冬における農村の餘剩勞力および畜力を活用し適切なる肥培管理を施さねばならぬので前記週間中には道幹部も各地に出張督勵を行ひこれに拍車をかけることゝなつた

咸安の籾供出上乘

【咸安】籾供出戰に全力を擧げてゐる咸安郡では郡農會では全員揃つて督勵を展開してゐるが、郡民もこれに呼應して我先にと供出に懸命となり、籾叺は山とつまれてゐるが、去る廿八日まで既に九割を突破、郡北面農業會社へぞくぞく持込み成績は頗る上乘でこの調子で行けば五日までには完了するものと見られてゐる

農村の醫療施設强化へ

【春川】農村の醫療施設の强化は戰時國民保健向上を企圖する折柄缺くべからざる緊急事であるので江原道では細民層の醫療施設强化に重點を置き今後積極的に施設の强化に乘出すことになつた

即ち現在農山村には醫療施設のみるべきものがなく、中には無醫面もある實情なので、農村民衆の保健衛生上からも捨ておけぬため、特に昭和十九年度から施行される徵兵制を目睫に控へて健全なる皇國臣民の養成上からも緊急を要するため、目下農山村の醫療機關の强化擴充策について根本的具體策を研究中である

加平の警防團檢閲

【加平】警察署においては戰時下警防團員の士氣を愈々昂揚すべく去る廿六日加平面警防團、廿七日には清平國民學校において外西面上下、雪岳面警防團の壯烈なる檢閲式を執行した

香園宮田丸署長の視閲に團員三百餘名終始一糸亂れぬ規律正しく冴え亘る喇叭の音に足並揃へて地軸を壓はせる分列式は數百觀衆をなして頼母しき感銘を與へると共に銃後警防陣の威容を如實に示した

坡州でも躍起督勵

【坡州】"斷じて食はせる"國策へ坡州郡當局では坡州警察署と連絡の下に過般來農業報國に立脚した籾の積極的供出への指導に郷補の配置をなしつゝあつたが二十三日以來高橋署長以下全署員第一線に起ち農業戰士の愛國心を喚起せしめつゝ"皆んで供出"せしめる現地への指導に乘り出してゐる

忠靈塔の招魂祭

【咸興】第二、第三の軍神の母となるべき女生徒の日常生活の上に常に軍神を身近に偲ばせ生きた教育を授けるため咸興高女では同校內に忠靈塔を奉安し、朝夕愛國の誠を捧げつゝあるが、五日同校講堂で遺族その他を招き招魂祭を執行する

ラジオ 3日

朝 七・〇〇 皇國の朝(三)大串兎代夫 2 朗讀(朗讀文學推薦入選作)吉田松陰書翰集▲八・〇〇 今日のお知らせ▲八・二〇 同(鮮語)▲九・〇〇『日本海員は斯く戰ふ』高田日本郵船海務課長▲九・三〇 國語會話の時間(朝鮮家庭向)放送通譯板(鮮語)▲一〇・〇〇 カシバナシ"カチカチヤマ"(一)梅田光枝▲一一・〇〇 四年生の時間、音樂"お母さんの誕生日"松井力

晝 〇・三〇 管絃樂『東亞の凱歌』ほか 東京放送管絃樂團▲一・〇〇 朗讀『海軍潜水學校見學』岩田豐雄▲二・〇〇 六年生の時間 劇"少年戰車兵"白石宏ほか▲二・三〇 染料の話(鮮語)▲四・〇〇 教師の時間はお休み▲四・三〇 科學物語『山の身上話』(鮮語)青松中央中教諭

夜 六・〇〇 シンフン2『日の丸鍛錬』長濱藤夫ほか▲六・三〇(鮮語)麥作の多收工夫の話(一)池田水原高農教授▲七・三〇 國民合唱"御民の歌"木下保指導▲八・〇〇 放送劇"ハワイ出擊"大河內傳次郎ほか▲九・〇〇(鮮語)新民謠李一仙ほか▲2 大管弦奏金本永根 3 唱調金德子ほか

永遠の女 (37) 牧洋作 岩本正二繪

光と波 (四)

『ちよつと晝の食堂にでも入つてお話しませう』

俊傑が先に立つた。金駿は、子供のやうにわくわくした氣持で、ついて行つた。

食堂に入つて、席をとると、俊傑は內かくしから、一通の封書をとり出して言つた。

『駿さんは、僕の言葉をだしぬけのやうに思ふかも知れないが、かなり以前から、僕はさう思つて愛羅の氣持を打診して見たんですよ。ほら、駿さんが、いつかの手紙で愛羅さんの現代的な快活さに、すつかり參つてゐると書いてゐたでせう』

『もう、みんな忘れてしまつたよ。そんなことを書いたかな』

金駿は、年に似合はず、ちよつと顏をあからめながら言つた。

『とにかく、僕はその時ぴんと來たな。はつはは……ほんとに、まじめな話だが、ちよつとこの手紙を讀んで見なさい。ひとの手紙を披露するのは惡いけど、二人の間柄だから構はんだろ』

俊傑は、さういつて、封書を金駿に渡した。それは、俊傑宛の愛羅の手紙だつた。金駿は默つて、手紙を讀み始めた。彼が手紙を讀む間、俊傑は愛羅との思ひ出を、ひよつとよび起した。

實を云ふと、當り前のすぢ道なら、愛羅は俊傑と結婚する筈だつた。愛羅は、ひそかに、俊傑を愛してゐたし、俊傑もまた充分、愛羅に好意を持つてゐた。しかし、俊傑の考へ方からすれば、戰にそれだけの理由では、結婚する譯には行かなかつた。愛羅は、どちらかといふと、夢の多いロマンチストだつた。俊傑は、むろん或る意味においては、もつと大きな夢を持つた青年だつたが、あくまでも自分の立場といふもの、生活の現實といふものを忘れないリアリストだつた。自分一人だけには、愛羅はよき妻であらう。然し、自分たち二人の子を育て上げるために、青春を犧牲にし、質素な生活を戰ひ拔いた母のために、よき嫁となるかは、殆ど信ぜられなかつた。誇張して言へば、母にさへ立派な嫁たり得れば、自分には感謝でもつてゆゝとまで、考へてゐる俊傑だつた。成上りの百萬長者の娘であり、夢の多いロマンティストの愛羅とは、到底結婚出來ないと、俊傑はとうから思つてゐたのである。

そこへ、金駿の率直な告白の片鱗にふれ、俊傑は、金駿と愛羅との組合せは、稀ないゝ縁組だと思つたのである。ただ、難と言へば、金駿が嚴しい好い男だと言ふことは、自分でも言つてゐる通り『貧式な』現代的教養に乏しい點などであるが、しかしこれなどは、或る意味において、愛羅をして、女王の如く振舞はせるには、うつてつけの點であらう。つまり、愛羅のやうな女性には、さうした環境や自由やが、絶對に必要な條件だと俊傑は思つてゐるのである。

やつと、金駿が手紙を讀み終つて、うれしさうな笑顏をつくつた。

『駿さん。話をきめませうよ。その手紙で、愛羅さんの氣持は分るでせう。駿さんの實行性に富んだ男らしさに、すつかり參つた─とでもいはんばかりの內容ぢやありませんか。はつはつは……』

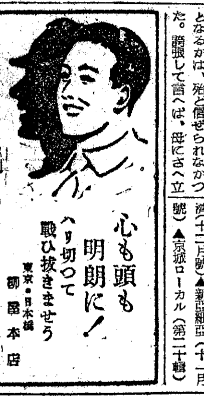
『李君に一切任せるよ。いゝやうにしてくれ給へ。そろそろ新しい女房を貰つても、もう死んだ女房にはすまぬまい。はつはつは……』

『よし、引受けた。さあ、行きませう。祝は急げだ。結婚行進曲は、僕のつくつたパイプ・オルガンで、小百合さんに彈みませう』

二人は自動車で、東大門外の明鮮園へ走らせた。

新刊紹介

◆企業(十一月號)◆日本母性(十二月號)◆新指導者(十一月號)◆映畫評論(十一月號)◆新亞細亞(十二月號)◆滿洲經濟(十二月號)◆京城ローカル(第二十號)



籤抽日一月一十 戰時債券當籤番號表(其ノ九)

(番號表中太字ハ別同、括弧內ハ割增等級並金額)
(大藏省・朝鮮殖産銀行發表)

報國債券 4

割增金(參等)	五圓券						
	78964	79386	79707	80515	80850	81396	81942
	78972	79450	79763	80534	80866	81404	81951
	79114	79476	79879	80646	80879	81452	81964
	79129	79517	79944	80673	80905	81465	81991
	79165	79556	80189	80675	80910	81526	82036
	79177	79586	80262	80684	80941	81711	82037
	79196	79598	80271	80704	80947	81736	82042
78732	79224	79614	80279	80781	80983	81750	82189
78806	79313	79615	80405	80784	80990	81811	82224
78957	79350	79705	80503	80833	81147	81900	82232

82295	83617	85040	86136	87909	89342	90197	91273	92321	93742	94669	95795	96691	97999	99280	99937
82296	83770	85099	86333	87955	89412	90223	91314	92330	93803	94838	95819	96844	98060	99282	/
82315	83834	85130	86354	87987	89421	90252	91321	92452	93809	94903	95868	96928	98091	99310	
82491	83992	85142	86361	88068	89494	90293	91329	92512	93865	95023	95909	96962	98179	99350	
82750	84063	85244	86445	88261	89503	90379	91372	92517	93868	95034	95944	96972	98270	99398	
82772	84118	85259	86589	88272	89569	90519	91397	92527	93873	95045	95962	97052	98322	99402	
82872	84136	85288	86673	88329	89589	90587	91434	92533	93878	95110	95980	97053	98395	99424	
82951	84168	85345	86691	88339	89592	90608	91442	92570	94008	95178	96011	97081	98557	99427	
82968	84193	85395	86719	88422	89616	90621	91508	92619	94068	95187	96073	97084	98633	99428	
82980	84227	85425	86788	88431	89708	90687	91560	92686	94069	95287	96081	97140	98722	99445	
83207	84253	85470	86794	88486	89747	90705	91658	92920	94080	95300	96163	97158	98858	99465	
83267	84420	85478	86939	88495	89750	90708	91669	92958	94096	95324	96236	97274	98873	99519	
83268	84490	85595	87165	88542	89785	90780	91731	92962	94124	95364	96297	97405	98921	99521	
83284	84534	85596	87205	88675	89813	90863	91762	92963	94132	95367	96369	97451	99030	99527	
83292	84574	85633	87344	88745	89825	90931	91810	93084	94173	95413	96391	97469	99057	99536	
83316	84615	85762	87350	88771	89963	90948	91906	93183	94250	95478	96404	97642	99078	99606	
83325	84714	85825	87547	88818	89983	91036	92112	93359	94264	95492	96497	97679	99114	99654	
83397	84749	85826	87587	88824	89984	91111	92129	93492	94301	95508	96498	97681	99139	99729	
83497	84768	85943	87686	89094	90098	91136	92193	93632	94441	95552	96508	97799	99160	99867	
83524	84882	86033	87714	89266	90153	91157	92233	93676	94442	95553	96540	97872	99167	99915	
83546	84986	86071	87784	89292	90183	91160	92245	93731	94513	95589	96666	97905	99202	99922	
83591	85036	86111	87849	89297	90191	91217	92260	93734	94603	95654	96668	97940	99235		

貯蓄債券 9

(五百圓) 86373
(五拾圓) 23587 50758 61773
(五圓) 308 10165 13101 17033 26288 26766 28170 37458

	割增金ナキ分							
40013		13155	19442	34182	49268	61722	78839	92306
40794		13336	19573	34581	49392	62308	79055	92386
40935	137	13843	22275	34826	50574	63193	79232	93842
43652	1799	13970	23682	36075	50760	63605	80549	94664
49062	2206	14680	24970	36474	51599	63630	80722	95073
50113	2438	14791	25281	38257	52301	65227	81321	95078
51958	2543	15250	25722	39006	52525	66169	82253	96136
53650	3059	15296	26261	39611	52681	66513	83263	96297
54182	3111	15374	26562	40040	53684	66819	83624	96382
56378	3549	15677	26777	40186	53804	67539	83998	96660
60481	4584	15996	26900	40430	54665	67797	84150	96857
61695	4798	16120	29502	40750	55074	69228	84409	97048
64101	5407	16363	29684	41133	55243	70106	84497	97976
67616	5693	16465	30714	41487	55547	70989	84757	98374
70011	7738	17090	30717	41696	55867	74960	85001	/
78712	8282	17324	30932	41971	55912	76819	85051	
78851	8712	17439	31207	44305	56532	76893	85725	
81194	8980	17918	31816	44348	57010	77145	86040	
83552	9824	18250	32011	47441	57186	77153	86153	
83824	11777	18362	32994	47826	57339	78393	86971	
94903	12249	19149	33800	48045	57595	78642	87080	
99743	13006	19441	34099	48275	59865	78724	88003	

商業登記公告

[illegible]

擴聲裝置 製造、販賣ノ絶對保證附 (要ナル切手四錢添付ノ事) 京城無線電機製作所 本町二丁目六三番地 電話本局②1251

性病 泌尿器科 皮膚科 醫學博士 高峰潔 (西大門郵便局前)

タイピスト 京城府公平町 電話②四五二番

會計檢査、會社設立 會社解散並ニ清算事務 及決算事務 新稅務 計理士 香川弘

城北病院 醫學博士 服部八郎 醫學博士 明杜光 京城府城北町一八九

プリント (謄寫印刷) タイプ印書引受 明治町二ノ三

產科・婦人科 醫學博士 森川益夫 朝鮮神宮表參道入口 電話②三三三三 隨時入院 森川病院

タイプ印書引受 旭タイプ印書社

皮膚泌尿科 性病 夜間診療 白居西時 厚生醫院

引越荷造 運搬 京西組

泌尿科 皮膚科 性病科 醫學博士 渡邊晋 日本生命ビル

ピアノ オルガン、記念蓄音機、修繕、賣買

京日案內廣告の御用命は 京日案內廣告社

京日案內

種別	一件一回稅込
一號型(三行)	金參円參拾錢
二號型(五行)	金五円五拾錢
三號型(十行)	金拾壹円
求職 一號型	金壹円拾錢
姓名在社料	毎回 壹円拾錢增シ

姓名在社の御照會は午前九時より午後五時まで廣告部へ御問合せの事

一號型(三行)：求職／求職／外務／女工／醫師／助手／寫眞／貨物自動車讓る／賄付貸間有ます／樂器ピアノ八十八鍵オルガン

二號型(五行)：貸室／美容／醫師／貸家

三號型(十行)：求工場／債券最高金融化／貸電話／社員募集 京城食料品株式會社／英文タイピスト募集 三井物産／女子事務員採用 日本鑛業株式會社／新聞支局急募 日日報社／女子事務員採用 人事係

京日文化劇場 一日より四日まで 東寶映畫特作 曉の進發 大日方傳 丸山定夫 主演 文化映畫 空中寫眞測量 日本ニュース

朝日座 十二月一日より 新興キネマ女王 鈴木澄子と共演せし 石黑政行一黨 毎夕六時開演

明治座 二日より八日まで 日本ニュース 空を守る少年兵 東洋の凱歌

新富座 一日ヨリ三日マデ 曲藝團 エミル・ニヤングス主演 孝女沈淸傳

桃花劇場 三日、四日(二日間) 世界的奇力劇 綜合演藝團大公演 一、大奇術 一、力道力藝 一、五人ピラミツド

浪花館 三日より上映 ニュース 文化映畫 獨眼龍政宗 片岡千惠藏 市川春代

大陸劇場 一日ヨリ 日本ニュース 造船所 江戸の朝霧 市川右太衛門 高山廣子

京劇 二日より 日本ニュース ハワイ・マレー沖海戰 日曜祭日は午前九時開場

城寶 二日より八日まで ニュース ハワイ・マレー沖海戰 日曜ハ早朝九時開場

和信映畫館 十二月第一週 文化映畫 都市と文化 新興特作 戰ふ軍樂隊 三日より九日まで 日本ニュース ジャツクと豆の木

東洋劇場 青春座公演 二十七日より 春香傳

城南劇場 十二月一日より五日まで 日本ニュース 文化映畫 軍艦旗南へ行く 初笑ひ國定忠治

中央劇場 誓ひの港 夜の鶯 ハンネス・マクシャー監督 マルタ・エツゲルト

若劇 十二月二日ヨリ上映 ニュース 空を守る少年兵 東洋の凱歌

喜樂館 十二月一日より 日本ニュース 空の教室 江戸の朝霧 市川右太衛門 主演

喜日文化劇場 一日より五日まで 1 九十九里ケ濱 2 熔岩の破壞力 3 軍國の花籠 4 科學の眼レンズ 5 ホームグラフ 6 國防武道・銃 7 日本ニュース

英の牙城香港陷ちて一年

攻城軍最高指揮官 酒井中將の談

最初の一太刀に成功 豫定早める完全攻略 建設戰に善政布け

【〇〇基地二日同盟】昨年十二月八日米英擊滅の大詔渙發されるや東亞における英國の侵略牙城香港はわが軍によつて忽ち擊摧され過去百年にわたる傲慢不遜な英國人の惡虐無道の歴史はここに終止符を打つた、この記念すべき大詔渙發の日と香港殲滅の日は早くも一周年を迎へるが、當時のわが攻城軍の最高指揮官酒井隆中將はこのほど〇〇において記者團と會見、約二ヶ月にわたる當時の壯烈鐵壯な要塞攻略戰を偲びつゝ左の如く語つた

酒井中將

戰爭は劍道と同じく最初の一太刀を浴びせて見なければ、堅鏡判斷がつかない、日本軍としては英國兵を相手に干戈を交へることはこれがはじめてのことであり、しかも要塞戰であるから作戰計畫は愼重に練つた、しかし各種偵察情報などにより大體一ヶ月で完全攻略の見透しがついた、十二月卅一日までに香港のビクトリヤピークを奪取、一ヶ月目の一月八日までの八日間を豫備期間としてとつて置くこととした、いよいよ九龍地區の第一線防備陣地を攻擊して見ると敵は極めて呆氣なく潰走した、恰度九龍の水源地を挾んで九つのトーチカが並んで敵陣が構成されてゐたが、斥候が偵察して見ると敵軍の防備状況はまるで隙だらけなので、〇〇部隊の一部は好機を逸せず突つ込んでまづ背後のトーチカを奪ひ、つゞいて地下道を傳つて九つのトーチカを悉く占領してしまつた、この最初の一太刀が見事に成功したことは爾後の作戰を極めて順調に導き香港陷落を豫想以上に早からしめる大きな動機となつた、敵はこの第一線陣地を二週間乃至一ヶ月は持ち耐へるつもりであつたらしいが、僅かに二日で潰滅したことは敵にとつても意外であつたに違ひない、敵は谷間地の敵陣を破壞する餘裕もなく香港島に逃げ込んだ、香港攻略に際し二回も降伏勸告の軍使を出したことは敵をして無益な抵抗を諦めさせ損傷を少くしてやるとともに中國人をして戰禍に捲き込まないやう、かつまた香港市街の破壞を最少限度に止めたいとの寛大な武士道的態度からであつた、しかし敵も易々と降伏するとは思はなかつたので攻擊の手は緩めず敵前上陸の準備は着々と進めた、果して頑冥な英軍は降伏に應じなかつたので、敵の意表を衝いて防備の薄い東側から香港島へ殺到した、それからが彌々の猛烈な山嶽戰になつたのだが、ここにおいて日本軍の平素の訓練と攻擊精神の旺盛さは眞に驚嘆すべき戰果をあげた、訓練といふことが如何に大切であるかを如實に示してくれた、また兵隊の死生を超越した勇敢さには全く拜みたいやうな氣持にさへなつた、十二月廿五日夕刻敵は遂に白旗を揭げ、その夜ヤング總督以下が降伏申入れのため自分と會見し無條件降伏と決定した、かくて攻擊開始以來僅かに十八日目、全島要塞と化した敵の東洋侵略の牙城は遂に潰え去つたのである、この戰勝でもつとも感銘の深かつたことは〇〇部隊の水源地攻擊と戰鬪機隊の啓德飛行場銃擊の功績であらう、この〇〇部隊は戰機を敏速巧妙に捕へて敵の意表をついたところなど眞に模範的な戰鬪といへる、また戰鬪機隊は爆擊隊掩護の任務でありながら任務完了にも拘らず敵飛行場に突込み地上の敵機十二機を完全に銃擊破壞し去るまで攻擊を止めず、しかも自己は見事に凱還した、この兩者の緒戰における赫々たる功績のために爾後の作戰が非常に順調に進んだ、攻略戰中敵機が一回も姿を現はさなかつたのもこの戰鬪機隊の勇敢なる行動があつたればこそである、東亞における英米軍は既に一掃しさることが出來たが戰爭は決して終つたのではない、戰ひは眞にこれからである、銃後に望むことは長期戰に耐へるだけの確固たる覺悟を整へて貰ひたい

釜山は早や開始

錬成所 十日頃から活動

江原道を除いて一日全鮮一齊に開所式をあげて世紀の發足をとげた朝鮮青年特別錬成所はその錬成教授を豫定よりやゝ遅らせていよいよ來る十日ごろから全鮮一齊に開始、いよいよ皇兵めざしての猛烈な錬成の巨歩をくりひろげる、錬成は開所式とゝもに三日から始めるべく總督府の示令により各道でこれが設備と機構に萬全を期したが、何しろ短い準備期間の中に膨大な劃期的大事業を準備しなければならなかつたので、關係方面の必死的敢闘により晴れの開所式までに漕ぎつけたが、いよいよ榮ある錬成開始は錬成所々員がまとまつた十日前後を期して錬成の第一歩を踏み出すはずである なほ釜山方面だけの錬成所は豫定通り態勢が整ひ、すでに二日錬成を始めた

ことだけだ、長期戰といふことは戰爭の繼續といふ一時的なものではない、必ず建設が伴はなければ戰爭の成果は保持し得ない、戰ろ建設工作が偉大な發展を遂げ各民族が喜んで協力し來るならば、そのところには長期戰爭の必要はなくなる狀態が出現するとさへ考へられる、われわれ日本人は大東亞建設の心構へをしつかりともつて異民族の指導に宜しきを得、東亞の國々が日本と心から協同し來るやう善政を布かねばならない、この大建設に携はる人々の旺盛なる努力と錬磨とを望む次第である

必勝貯蓄かるた

聯盟から銃後へ贈る

かるたの文句で貯蓄を增進させようと十五日から行はれる半島の九億貯蓄達成運動にはずみをつけるため朝鮮貯蓄銀行が選擬した總力聯盟考案の『必勝貯蓄かるた』が近くお目見得する、このかるたは朝鮮貯蓄銀行が總力聯盟に依賴して製作し、三色刷りの贅澤版で、戰爭色がたつぷり盛られてをり現員の使用を獎勵してゐる

い＝一億一円戰艦一隻、ろ＝論より證據五年の大戰果、は＝花もよいよい忘るな貯金、に＝西に東に貯蓄戰、ほ＝保險も立派な貯蓄です、へ＝兵隊さんすら四億の貯金、と＝父さん母さん貯金で勝つ戰爭、ち＝貯蓄は忠義、り＝理窟で貯金は出來ません、ぬ＝拔いた軍刀收めるまでは、る＝ルーズベルトの泣きつ面、を＝女ながらも銃後で參戰、わ＝忘れてなるまいあの日の感激、か＝儉約、節約、貯蓄で總力、よ＝ようこそこんなに御奉公、た＝彈丸切手だその通り、れ＝連戰連勝國債戰、そ＝そうだその意氣必勝陣、つ＝積立貯金が大はやり、ね＝ねむれぬチヤーチル蔣介石、な＝何が何でも九億突破、ら＝樂觀許さず長期戰、む＝無理が通つて樂しい貯蓄、う＝打出の小槌は國民貯蓄、ゐ＝偉大なる力貯蓄日本、の＝呑むだつもりで報國債券、お＝お前も据置貯金、く＝苦勞の仕甲斐がありました、や＝やりくり樂しい貯金帳、ま＝豆債券の當り年、け＝今日は金利明日は無盡、ふ＝奮鬪努力戰果に酬へよ、こ＝この一手國民貯蓄組合、え＝英米擊滅この一錢、て＝天壤無窮臣道無限、あ＝明るい生活貯蓄の生活、さ＝さつと切り込め小手、面、胴、き＝虛禮をやめよう、やめませう、ゆ＝油斷はなるまい、敵もさるもの、め＝滅私奉公＝愛國班、み＝御民われ債券買つて總進軍、し

鐵壁・北の護り（中）

痴人の夢 今や實現

スラッと据ゑられた鐵物は進水を待つ間の無骨な鐵塊の姿ではない、曾ては一國文明の水準を決定するものとして重工業文明の指標とまでいはれ、今は近代戰に不可缺な第一線兵器として一國戰鬪力の強弱測定のバロメーターたる自動車部分品がその組立を待つ間の一瞬の靜寂の姿である、無心に靜まりかへつた冷たい鐵の表情の底から、熔火に燃え狂つた時の踊々火を吐く阿修羅の形相が甦へつて來る、滿洲に自動車工業の大規模な生產工場を起すとは曾ては痴人の夢であつたが日本と共に戰ふ滿洲の決意は見事その夢を實現し、今は北邊を守り南方にその威力を發揮し支那戰線を馳驅してゐる【寫眞＝組立てを待つ自動車部分品】

偲ぶ若き日の激戰

小磯總督 統軍亭の一刻

【新義州にて岡林特派員發】水豐ダムを視察した小磯總督は二日午前九時十分朔州溫泉發、途中淸城鎭の國境橋工事を見て一路新義州に向ひ同十一時半義州郡廳に入つた、正午過ぎ強風すさぶ中を義州公園に入り日清、日露兩役記念碑を巡つて統軍亭に立ち同行の八島水豐建設所長から眼下の一部施設工事の義州ダムについて詳細なる説明を聞きつゝ各般の突込んだ質問を發した 次いで日露戰役に黑木第一軍の一線小隊長として鴨綠江に上陸した中尉時代の若き日の想出の地をあちこち感慨深げに眺めながら『又ゆつくり來ますかな』『僕がゐたのはあの邊だつたかな』と短い言葉にも若き日の國の興亡を賭けた大運命に捧げた決心の程を回顧するかの如く時こそ違へ全半島を統べて歴史的大東亞戰必勝を心に誓ふ總督は山を下り鴨綠江デルタ地帶を砂煙をあげながら疾驅して午後一時四十分新義州に到着、驛前ホテルに入つた

水豐ダム視察

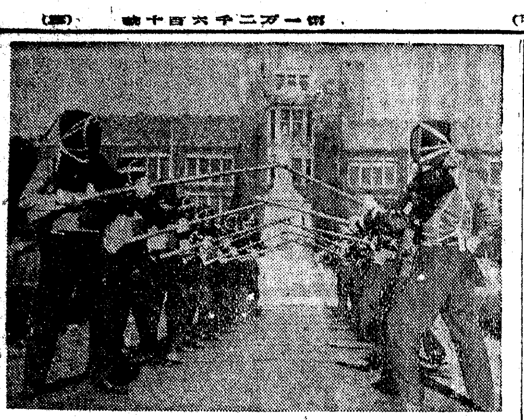
【朔州溫泉にて岡林特派員發】鮮滿國境に鴨綠江の悠久なる流の歴史を斷ち切つて聳り立つ巨城『水豐ダム』は一日小磯總督を迎へて冬晴れの空の下に巍然と科學日本の力を誇示してゐる、昨年九月發電を開始し、近くまた後期發電の工程も完成を見ようとしてゐる發電所内を、永井理事、八島所長の案内により一巡クラブに歸つて晝食、再び小磯總督は、百數十米のダム上に立つた、滿々たる世界第二の水豐人造湖水及び周圍の形態に科學と國力の偉大さに新たな感懐を抱いたことであらう、午後一時卅分ダムから遊覽船に乗せて水没地帶を見て進みつつ湖上をゆくこと約二時間かつての城門もそれを圍る昌城の街並も今はただ敢なく湖底に沈み永遠なる眠りをつづけ獨り郡府公園の山頂が僅かに孤島となつて眼前昔を偲ばせてゐるのみ、船から島に上り郡府學に立てば古きは新しきに讓つて何一つないのである

皇后陛下

横須賀病院行啓

畏し海の勇士御慰問

【東京電話】皇后陛下には三日神奈川縣横須賀海軍病院に行啓あらせられる旨二日仰出された、この日陛下には側近供奉の略式自動車鹵簿にて午前十一時三十分宮城御出門東京驛より宮城列車に召させられて午後零時五十分横須賀驛御着、横須賀海軍病院に成らせられ戰傷病をつゞける海の勇士などを親しく御慰問のうち同二時四十分同病院御發同四時四十分宮城に還御の御豫定と承る



米英締出し あれから一年（三） 教育篇

"魔術の垣"崩れて 清純の魂、今や起つ

軍教に、國語に驀足

延禧專門―それはミッションスクールであつた、立派な米英直系の學校であつた、そこに十月一日、朝鮮總督府は高橋敎學官を校長として任命した、まさに晴天の霹靂世に魁げて本府のとつた英斷を賦め、高橋新校長を激勵した、さうして『延禧よ如何に新生するか』と絶大の期待をかけた

延禧專門―それは米英魔神の第一殿堂であつた、その學窓は松林の翠色、赤瓦の色彩的屋根、西歐花壇、英語の會話等々、遙かに米英を眞擬すべくすべてが按配された魔法の館であり、米英への妖麗な門であつた そこから米英への直流路が巧妙に作られてゐて、年々幾人かの若い學生は他の學生の羨望の中に金と華奢な衣裳とをあてがはれて、やすやすと、その米英へ魂を身賣しに行つたものである、一日高橋校長がその魔法の學園の丘に立つて見下ろせば、その校庭の芝生の設計はまさしくユニオンジヤツクを型どりそのユニオンジヤツクはまた米國の『米』といふ字をも型どつたものの、眼にこれを發見すれば、創立者アビソンが米國生れで、米國に開化した人物である處に由來すると一說校は答へたといふ、しかもそのユニオンジヤツクの中心にはこの春まで創立校長アンダウツトの銅像が心中半島の魂を狙つた姿で建てられてゐたといふ

そんな學校が今日まで皇國日本の一角に存在してゐたといふことが、自體何人もことの意外に驚くであらう、國家＝生活＝學校この關聯の中に身をおいて學を修むべきに、よくもかかる米英そのままの學校が存在してゐたものである

この學園に高橋校長は五ケ條の校訓を投げつけたのである、その第一條は

國體の本義に透徹し、教育勅語の旨趣を奉體し、忠良を精にし識見を長じ、以て皇國民たるの信念を鞏固ならしむべし』

と、青年は正純なり、あれ程に魔法にかけられて來た學園の學生がその五ケ條に飛びついて來たのだ

朝の禮拜は無くなる、宣敎師は姿を消す、宗敎部は解消する、米英と目されてゐた敎授もゐなくなる、さうして『驀足で行かう』さうした言葉が敎授、學生の間の合言葉となつたのだ、今までの鬱れてゐた分をこの一氣に取返へさうとする激しい意欲が澎湃として學園に滿ち滿ちたのだ、延禧は今大いなる轉回をとつてゐる、完全に米英の羈絆から脱却した、米英系學園のシンガポール延禧の新しき朝――

……◇……

梨花女專に移さう、『女子の延禧』學園の香港であつた梨花女專に、今床圖のついた作法室が設けられてゐる、神棚には大麻が奉齋され、ざうしてその室は森嚴、生花などが淑やかに學習されてゐる、日本女性はこゝにも誕生しようとしてゐる、秋十月であつた、これまで英語を會話の媒體として誇らかに轉つてゐた女子學生達が『英語こそ敵語なり』と目覺めて國語の修練に努め、堂々國語演劇を府民館で公演した、思へば隔世の感ありといつてよからう

……◇……

延禧にしても梨花にしても、米國はそのミッションからいくらくの金を支出する敎師教授幾人かを入れるといふ寵法でその經營が續行されて來たといふ、それに觸することが、宗教と敎育といふ大義名分にかくれて梨花、培花、貞信、啓聖、儆新、崇實、崇義、永生、明德など全鮮要都市に中等學校が配置され、幾多の青年男女生徒を囲ほし、眞は斷才を半島の不純な魂の上に打込んでゐたのだ しかもこれらの殆どが女子中等學校であり、先づ女の心を捉へて家庭に喰入り國を搖かうといふ手段だつた、しかしそれらの一切が今は斷ち截られた、何れの學校も皇國の大戰に職貴な前進をとつてゐる、かつて強硬なミッションスクールの女學生が、今日神社に月詣でしてゐる、又陸軍病院に白衣の勇士を慰問し、その勇士達と庭球の試合に打ち興じてゐる現實が現在の半島なのだ、それらのすべては大東亞戰第一年が米英から奪還し得た銃後の勝利といつてよい セブランス醫專も『その一年』において旭醫專と改稱した、何といふ明るい名稱をとつたことであらう、その『旭』の校庭に軍事敎練の號音を聞く かくて米英的校風を吹ッ飛ばした半島敎育界、それは大東亞すめらみ道建設への輝かしい希望者となるであらう【寫眞＝軍敎に勵む延禧專門學校生】

われら進まん

波田總長放送

來る『十二月八日』――感激の朝七時半から全鮮の津々浦々には世紀の大詔奉戴日常會が開かれるが總聯波田總長は『大詔を奉じてわれら進まん』と題してこの常會に向けてラジオ放送、また十日の愛國班常會には午後七時半から總聯總務部長田中英氏が貯蓄問題を強調二千四百萬の奮起を促す

日吉京中教諭謝恩會

京城中學校創立以來卅五年間勤續本年春退職した日吉守教諭への謝恩會は、永年手鹽にかけて育てられて今日社會人として活躍してゐる半島在住五百名の同窓生によつて五日午後六時から雅敍園で盛大にひらかれ、兒嶋李王職次官、眞原總督府事務官、磯井黃海道知事ほか目下來鮮中の文七機晴勤、鷲田晶一二郎、湯淺京畿知事ら名士、同校出身者が出席、恩師へ深い感謝の誠を捧げることゝなつた

行司木村淸之助氏

【東京電話】大日本相撲協會行司木村淸之助氏は腎石病のため東京市本所區東兩國の自宅で療養中のところ一日午前八時十五分死去した、享年六十八

學童使節、西住大尉の生家へ

【熊本にて渡邊特派員發】二日熊本驛中佐に軍神訪問第五日目の朝を迎へた學童使節の一行は何の生々しい朝霧の中に西住戰車長の靈を訪ねて詣で、日曜に武勳を物語つた西住家の父三作氏の碑と共に眠る軍神の墓前に額いたが父子ともに枕を並べて眠る白木の墓標を仰ぎながら學童達は今更に安部家尊王の昔からこの家に續く盡忠の家風に強く胸をうたれるのだつた 墓參ののちそこから約五町の生家を訪れ軍神が最後まで身につけてゐたぼろぼろの軍服などを拜見して血戰の激しさに眼をみはり昔ながらの第二第三の西住大尉とならんことを誓つて生家を辭去、熊本から肥後平野を一路南下して熊本に入り午後九時鹿兒島に第五日目の宿舍をとつた

回覽板

婦人靴、當分我慢を

問 婦人用布靴の品質が弱くて困りますが、何か改善の工夫はないのですか（濟南から）

答 現在織布の配給は主に軍需その他の關係上不可能のため、統制外の自由品を使用して居るのでありまして當分の間は品質改善等の方法を講ずることは困難です、なほ織布の配給により生產する布靴についても多少の缺陷があるのを認めますが今のところ手の廻りかねる狀態にあります（總督府、商工課）

戰力增强展

總力聯盟で開催

勤勞增產、戰時生活の徹底實行、國民錬成はこれ日本が米英を屈伏さすに叩きつける戰力增強の途に、國民總力朝鮮聯盟では大東亞戰爭一周年記念行事に魁けてこのやうな銃下の國民の總蹶起を昂揚するため京城府内五六百商店に總督府及び朝鮮軍後援のもと左の如く三日から十一日まで『戰力增強大展覽會』を開催、大東亞戰一周年を迎へていよいよたぎる銃後の決意と勝ち拔くための國民の意氣を鼓舞する

皆勞增强篇―和信、靑少年錬成篇―丁子屋、戰時生活篇―三中井、貯蓄推進篇―三越、その他平田

話題特急

☆…第二次ソロモン海戰において擊沈された空母ワスプの最期についてデイリー・メール紙は三十日の紙上に乘組員の目擊談を揭げつぎの通り報じてゐる

☆…空母ワスプが決定的な攻擊をうけたとき、同空母およびこれを護衛する數隻の巡洋艦は完全に日本潛水艦に狙はれて、どうにも動きのとれぬ狀況に陷つてゐた、巡洋艦は敵の間斷なき攻擊のため、いづれも自分を護るに忙殺されて空母を省みる暇がなかつた、そしてワスプは自分では日本艦艇を追及してゐると信じてゐたとき魚雷を喰つた、大爆發とともに艦載機が空中に吹き飛ばされた

☆…ついで火藥庫が大爆發を起し火焰はたちまち母艦を蔽ひ送油管はいづれも、もの凄い黑煙を吐いてゐる、新しい爆發が起るたびに艦は激動の爲大きく搖れた、かくて攻擊開始後いくばくもなくワスプは擊沈されたが、ワスプを旗艦としてゐた司令官および艦長は少數の將兵と共に辛うじて救命艇によつて救助された【リスボン同盟＝ロンドン發】

地球鉛筆

食欲がつく 消化が早い 便通がよくなる 榮養が充實する
日本固有のビルツとを主體とする
ミクローゼ

電話事務員募集
採用條件
大日本紡績株式會社清津工場 人事係

ニキビが取れて色白くなる

永井柳太郎先生ノ來城ヲ機トシ十日（木）午後正三時ヨリ長谷川町朝鮮土木建築業協會會議室ニ於テ歡迎茶話會開催致度ニ付參加校友會諸氏ハ其ノ前日迄ニ必着スルヤウ卒業年度別、勤務先等記入ノ葉書ヲ以テ左記宛御申込相成度
早稻田大學校友會朝鮮支部

賞與と債券
大東亞戰一周年記念發行 第六回戰時債券
貯蓄 報國
抽籤濟豆債券ハ一圓ノ割デ御乘換願ヒマス
日本勸業證券京城支店

製鐵職工募集
一、應募資格
二、必要書類
三、詮衡日及場所
四、給與
五、旅費支度料
六、赴任
株式會社昭和製鋼所

謝近火御見舞 上田章輔

砂鐵のドリル 日本砂鐵鋼業株式會社
松坂商店

伸びる小供に 栄える日本 乳のよく出る薬 クラトミン 國際新薬研究所

謝近火御見舞 久島次男

謝近火御見舞 石潤洋行 李斗鎬 伊藤素介 安田榮作 金谷泰敏

第壹期決算公告
京城府 明治町 株式會社
[illegible]

工員大募集
求人先 株式會社昭和製鋼所
就業地
募集人員 數十名
應募資格
待遇
提出書類
旅費
申込締切 十二月七日迄
詮衡期日 十二月十日
詮衡場所 清州職業紹介所
其ノ他 詳細ハ當所へ
清州職業紹介所

父運平儀豫而病氣療養中之處養生不相叶昨一日午後十一時二十五分遂に死去致候間生前の御厚誼を拜謝し本廣告を以て御通知に代へ申候
昭和十七年十二月二日
京城府本町二丁目八三
嗣子 江原 [illegible]
親戚 友人 一同

滋養强壯 造血
三省製藥所
エリトーゼ

香料 化粧品材料 染料 着色料
東華洋行

從來のニクロム線を凌ぐ
日本金屬工業株式會社製品
日本電熱線
朝鮮總代理店 株式會社八木商店京城支店

朝鮮總督府規格一級品
ダイカ薬用クリーム
發賣元 第一化學興業所

株式名義書換並ニ質權ノ登錄及抹消停止公告
昭和十七年十二月一日
江原道繊維株式會社

京城日報　夕刊

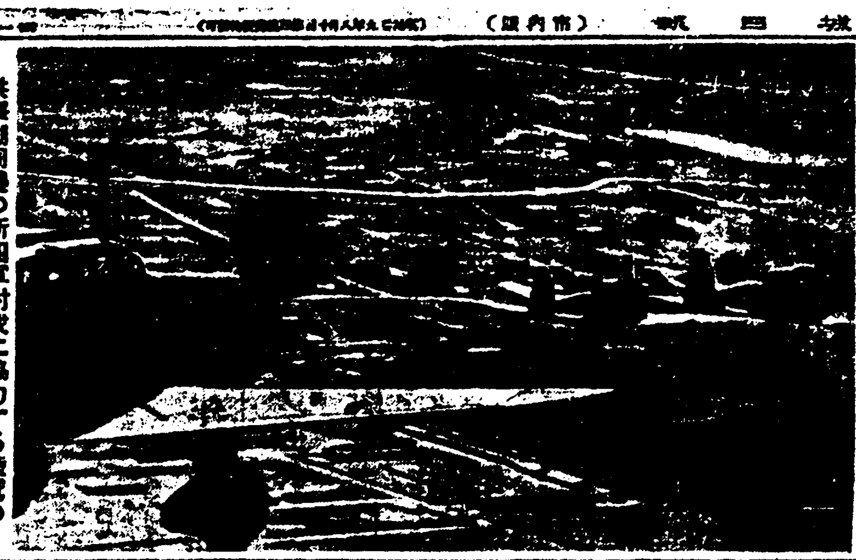
陸海軍へ二億の火の玉協力
米英撃滅へ至大な原動力
献金二億圓を突破・献納機二千餘機

[illegible]

陸軍 陸軍兵器及び[illegible]は支那事変中三千百三十九萬七千八百六十四圓、大東亜戦争開始後八百四十萬七百七十五圓、國防その他の献金は支那事変中一億四千六百九十一萬二千九百八十六圓八十二錢、大東亜戦争以来四千廿九萬八千十一圓七十八錢といふ莫大な數字を示し陸軍献納機は合せて千二百機にのぼってゐる

海軍 海軍省へは献納[illegible]支那事変中二百八十八萬二千八十一圓、大東亜戦争以後百十二萬千九百十三圓、國防献金その他の献金は支那事変中八千二百二十三萬六千五十八圓卅一錢、大東亜戦争後一億二千七百七十三萬千五百九十七圓九錢といふ巨額にのぼり海軍献納機は陸軍機とほぼ同數である

[illegible]



洪澤湖周邊の新四軍討伐に協力する陸鷲の勇姿（陸軍省檢閲済）

伊、都市住民に退避勸告

【ローマ一日同盟】[illegible]ゼノア、トリノ、ミラノ[illegible]

斷乎戰ひ拔かん
バーモ長官決意表明

【ラングーン一日同盟】[illegible]

佛艦隊最後の日
終日轟音と火焰と爆彈に暮る
（ツーロン軍港の悲劇！）

自沈目撃記

【ベルリン一日同盟】ツーロン[illegible]

聯合軍浮足立つ
北阿の戰局 樞軸軍に有利

【ベルリン一日同盟】[illegible]

獨空軍の活躍愈よ熾烈

【リスボン一日同盟】[illegible]

戰車一四三撃破
飛行機五九撃墜
東部戰線、獨軍の戰果

【ベルリン一日同盟】[illegible]

ルジョフ地區で大戰車戰

【リスボン一日同盟】[illegible]

最後の勝利疑ひなし
獨宣傳相、確信を披瀝

【ベルリン一日同盟】ゲッベルス[illegible]

伊國民戰意鞏固

【ローマ一日同盟】[illegible]

世界最大の輸送機
獨製作に成功

【ストックホルム一日同盟】[illegible]

小磯總督 新義州視察

[illegible]

日本産金の合併
草間副社長の歸任談

[illegible]

泰國中央銀行

【バンコック一日同盟】[illegible]

ダルラン傀儡政權主席就任か

【リスボン一日同盟】ダルラン[illegible]

ウルグアイ大統領

【ブエノスアイレス一日同盟】[illegible]

外務辭令（二日）[illegible]

時の録音

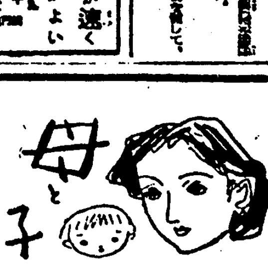
[illegible]

時計の修理は　田中時計店　京城本町二丁目

さあ二年目も勝ち抜くぞ！　大東亜戦争 寫眞報道展　十二月三日→十一日　毎日新報社　丁子屋

ダイヤモンド社版　新刊　實務知識　統制經濟の[illegible]　あきないと商人　改訂行政法

濕布に ビスメン　効きめが速く 保ちがよい



有名病院御使用　ワセトン球

胃腸弛緩　エビオス　エビオスの豊富なB複合體の補給により、胃腸機能の弛緩による食慾、消化、便通の異常を矯正する

喘息と咳嗽に　エフェドリン「ナガヰ」　大日本製藥株式會社

宇津救命丸

忘年會や"年賀の回禮"は全廢
年末、年始の實踐事項決る

[illegible]

後は引受けました
故松尾大尉の靈前に誓ふ
九州班の一行

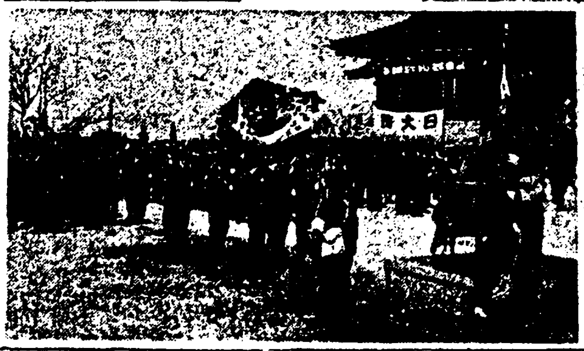
學童使節團
臺灣、琉球の民族音樂研究
調査班を派遣

[illegible]

嬉しい賞與で御奉公
七日から賣出し

神域に誓ふ警防魂
京城消防署員が模範演習
物資愛護は防火から

[illegible]



大戰第二年への構へを聽く

[illegible]

貯蓄せよ勤儉貯蓄
遊休面を活用せよ
不平を云ふは恥辱

[illegible]

神宮氷上競技　種目決る

[illegible]

藤本の
資託
投信
第三次豫約
申込受付開始
說明書送呈
藤本證券

朝鮮取引所　一般取引員
北川俊一商店
京城府黄金町二ノ一九九

みんな健康兒

農林省

けふの市況
株式　崩る
實物一般に一戻り

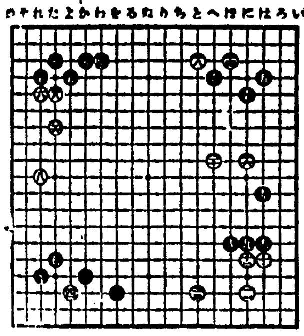
[illegible]

形株仲値(二日)

[illegible]

朝鮮取引所株式(二日)

[illegible]



第三回

[illegible]

複寫紙なら
レミントン
ライオン事務器

後三國志
私情を祈る(二)　(20)
(吉川英治作)
(矢野橋村畫)

[illegible]

銘記せよ大詔奉戴日一周年!
さあ二年目も勝ち抜くぞ
十二月三日より十三日まで
實用呉服の市
丁子屋の實質防寒用品
丁子屋

化粧品
小間物
和装品
卸問屋　京城山大商會

時計
蓄音機
レコード
明時堂
カメラ

高校 受驗講習
十二月五日ヨリ
一月末日マデ

短期 實物 現株
内海清藏商店

東亞證券

源
山本源作商店
朝取一般取引員

短期
現株
吉村取引店

二田原株式店現物部

感激のあの日、十二月八日を迎へて……
米英撃滅へ總進軍!
主催・國民總力朝鮮聯盟
朝鮮總督府
後援・朝鮮軍報道部
京城在勤海軍武官府
大東亞戰争一周年記念
戰力増強展覽會
會期・三日より十一日まで
會場・青少年錬成篇　丁子屋
戰時生活篇　三中井
勤労増産篇　和信
貯蓄進軍篇　三越

治淋特效
急慢性淋疾に
チーユーサイド
柳韓洋行

敬告
伊東秀雄

[illegible]

こしやマ

[illegible]

月やく
せきにパラコニン液